

(解答・配点)

問題番号 (配点)	設問	解答番号	正解	配点	自己採点欄	問題番号 (配点)	設問	解答番号	正解	配点	自己採点欄	
第1問 (10)	A	1	1	②	2	第4問 (16)	1	24	③	3		
		2	2	④	2		2	25	④	3		
	B	1	3	③	2		3	26	③	3		
		2	4	②	2		4	27	①	2		
		3	5	①	2		4	28	②	2		
小計					5	29	⑥	3				
第2問 (20)	A	1	6	②	2	小計						
		2	7	①	2	1	30	③	3			
		3	8	②	2	2	31	④	3*			
		4	9	①	2		32	①				
		5	10	④	2		33	②				
	1	11	③	2	34		③					
	B	2	12	②	2	3	35	①	3			
		3	13	③	2	4	36-37	③-⑤	3*			
		4	14	④	2	5	38	④	3			
		5	15	②	2	小計						
小計					第6問 (24)	A	1	39	③	3		
第3問 (15)	A	1	16	①			3	2	40	④	3	
		2	17	④			3	3	41	①	3	
	B	1	18	③			3*	4	42	①	3	
			19	④		1		43	②	3		
			20	①		2		44	③	3		
		21	②	3		45-46	①-⑤	3*				
		2	22	③		3	4	47	②	3		
3	23	②	3	小計								
小計					合計							

(注)

- 1 *は、全部正解の場合のみ点を与える。
2 - (ハイフン) でつながれた正解は、順序を問わない。

第1問

解答

- A 問1 - ② 問2 - ④ (各2点)
B 問1 - ③ 問2 - ② 問3 - ① (各2点)

出典

全訳

A コミュニティセンターで開催予定の「歌う」日への参加に関し、比較的単純な文や易しい語彙で書かれているテキストメッセージでのやり取りを通して、必要な情報を探して内容を正しく理解する力を問う。語数は約 140 語。

Original Material

あなたはフランスに留学している。同じ市内にある別の学校で勉強しているイギリス人の友人からテキストメッセージを受け取る。

こんにちは！ 世界中からやってきた人たちを紹介する手段として、市役所がコミュニティセンターで「歌う」日の準備をしているところで、いろいろな言語で歌ったり歌を聴いたりする機会になるよ！ 音楽はカラオケスタイルで楽器やステージはなし。おいでよ！ そしてクラスメートも連れておいでよ！

やあ、サイモン。その話、聞いてたよ！ そこに行く予定でいるよ！ 歌の種類はまだ決めてないんだけどね。人によって好きな音楽の種類は違うことが多いだろ。僕は何を歌ったらいいかな？

そうだな、ほとんどが若者だろうから、好きな曲に合わせて踊れるように、テンポのいい歌の方がいいと思うけど。僕は早めに行くけど、センターで会おう！

設問解説

問1 1 正解②

「あなたの友人はあなたが 1 ことを望んでいる」

- ① ロックバンドを組むための人を何人か探す
- ② 他の人たちをこのイベントに参加するよう誘う
- ③ ステージで伝統的な踊りを踊る
- ④ 学生たちにあなたの国の歌を教える

サイモンは最初のテキストメッセージの第2文(The city hall ...)で、市役所がコミュニティセンターで「歌う」日の準備をしていて、それはいろいろな言語で歌ったり歌を聴いたりする機会になると伝えた後、第4文(Come!)以降で、あなたに対して「おいでよ！そしてクラスメートも連れておいでよ！」と述べているのだから、あなたに他の人たちもこのイベントに参加するよう誘って欲しいと思っていることがわかる。よってその内容に一致する②が正解。

①に関しては、「ロックバンドを組む」という内容がテキストメッセージ上にはないので誤り。③に関しては、サイモンが最初のテキストメッセージの第3文(The music will ...)で、「ステージはなし」と述べているので誤り。④に関しては、「学生たちにあなたの国の歌を教える」という内容がテキストメッセージ上にはないので誤り。

問2 **2** 正解**④**

「サイモンの2つ目のメッセージに対してあなたはどのように返信するか」 **2**

- ① わかった。歌詞を訳し始めることにするよ!
- ② わかった。昔の歌を調べた方がいいね!
- ③ ゴメン、そんなに早くは行けないよ。
- ④ 確かに! かつこいいJポップをいくつか選ぶことにするよ!

あなたは「歌う」日に歌う歌のジャンルをまだ決めかねていて、テキストメッセージの最終文(What should I ...)でサイモンに「僕は何を歌ったらいいかな?」と尋ねると、サイモンが2つ目のテキストメッセージの第1文(Well, most people ...)で「テンポのいい歌の方がいいとは思うけど」と答えてくれる。それに対して「確かに! かつこいいJポップをいくつか選ぶことにするよ!」と返信すれば、自然なやりとりとなるので、正解は**④**となる。

①に関しては、「歌詞を訳す」という内容がテキストメッセージ上からはうかがえないので誤り。②に関しては、「昔の歌を調査する」という内容がテキストメッセージ上からはうかがえないので誤り。③に関しては、サイモンは2つ目のテキストメッセージの最終文(I'll go early ...)で「僕は早めに行くけど、センターで会おう!」と述べているが、具体的に何時に行くとは言っていないので、③の内容では自然なやり取りとは言えず、誤り。

主な語句・表現

[リード文]

・問題冊子を参照のこと。

◇ study abroad 「留学する」

[メッセージ]

- ◇ city hall 「市役所」
- ◇ community centre 「コミュニティセンター」 教育・文化・厚生・社交などの設備がある社会事業センター。centre は center のイギリス英語表記。
- ◇ the opportunity to - 「-するための機会」
- ◇ musical instrument 「楽器」
- ◇ right? 「(文尾にく, right?) の形で付加的につけ、自分の発言を相手に確認して) わかったね; いいね; ...だよ」 (例) Then you won't come, *right?* 「それじゃ来ないんだね」
- ◇ I should think 「私としては... と思いますが」 この should はよく say, think, like, prefer などの動詞の前に置かれて、控え目・ためらい・丁寧の気持ちを表す。(例) He's over fifty, *I should think*. 「彼は50歳は過ぎていると思いますが」
- ◇ so that S can - 「(目的を表して) S が-するために [-できるよう]」
- ◇ dance to ... 「...に合わせて踊る」

[設問・選択肢]

- ◇ invite ... to - 「...に-するよう誘う [勧める; 依頼する]」
- ◇ reply to ... 「...に返信を書く [返事をする; 答える]」
- ◇ Got it. 「わかった」 Got の前には I または I have が省略されている。この get は「...を理解する」という意味。
- ◇ translate 「...を翻訳する」
- ◇ would better 原形「(原形) した方がよいだろう」
- ◇ research 「...を調査 [研究] する」
- ◇ cool 「かつこいい」
- ◇ J-pop 「J (ジェー) ポップ」 Japanese Pop (music) の略。日本のポップス音楽の総称。
- ◇ organise 「...を準備する [催す]」
- ◇ category 「種類; 部類」
- ◇ introduce 「...を紹介する」
- ◇ song word 「歌詞」
- ◇ sure 副 「(返答として) 確かに; その通り」

B 学校で配られた平易な表現で書かれている特別講義の案内に関する記述の読み取りを通じて、必要な情報を探して内容を正しく理解する力や、書き手の意図を把握する力を問う。語数は約 230 語。

出典

Original Material

全訳

あなたの先生が興味深い講義の案内を配布した。

英語に関する特別講義

言語の研究分野で先導的な学者の1人である Swain 教授が、本校で英語に関する無料の連続講義を来月行ってください。この特別講義は3つのセクションに分かれています:

	講義日	開催場所	内容
講義 A	3月6日	南ホール	・英語の統語論
講義 B	3月8日	中央ホール	・英語の語彙 ・英語の音韻論
講義 C	3月10日	講堂	・英語の歴史

☆学生は1人につき最大で2つの講義まで登録可能です。

☆前提知識は不要です。

☆それぞれの講義の後、短いレポートを書いてもらいます。

講演者について

Bolic 大学の教授。主に英語統語論(英語の文法を扱う分野)に関して多くの論文を発表されていますが、英語の音声の研究である英語音韻論に関する研究でも著名な先生です。

講演者からのメッセージ

皆さんこんにちは! 私は日本の文化と日本食が大好きです。ですから、それぞれの講義の後にそれらについて皆さんとお話することを本当に楽しみにしています! これが、皆さんが英語を話す練習をする良い機会になればと思っています。

* 高橋先生に今月末までに申し込み用紙を提出しなくてはなりません。

* これらの講義にはご家族を招待することができます。

問1 3 正解③

「特別講義に参加するためには、あなたは3いけない」

- ① 少なくとも2つの講義に出席しなくては
- ② いくらかの背景知識がなくては
- ③ 2月中に申し込み用紙を提出しなくては
- ④ 家族と一緒に連れてこなくては

本文第1文 (Professor Swain, one ...) の「連続講義が来月行われる」という記述と、1つ目の* (You must hand ...) の「申し込み用紙の提出期限は今月末」という記述から、提出期限は開催月の前月中だとわかる。さらに表から、講義が行われるのは3月だとわかるので、以上を合わせると「申し込み期限は2月中」ということになり、③が正解となる。

①に関しては、1つ目の☆ (Each student can ...) に「最大で2つの講義まで」とあるので誤りである。②に関しては、2つ目の☆ (No prior knowledge ...) の「前提知識は不要」という記述に反する。2つ目の* (You can invite ...) に「家族を招待することができる」と記されているが、これは「連れてこなくてはいけない」という意味ではないので、④も誤りである。

問2 4 正解②

「講義の後に、Swain教授は4可能性が高い」

- ① 他の先生たちと日本食を食べる
- ② 日本について会話をする
- ③ 日本の習慣についての本を出版する
- ④ 日本についての短いレポートを書く

講演者からのメッセージ欄 (Message from the lecturer) の第3文 (So I am ...) に「講義の後にそれら (= 日本の文化と日本食) について話すのを楽しみにしている」とあるので、②が正解となる。

①, ③, ④については、本文中に該当する記述がない。

問3 5 正解①

「英語の文法について学びたい場合、あなたが最もする可能性があるのは5である」

- ① 南ホールで開かれる講義に出席すること
- ② 3月10日に講堂に行くこと
- ③ 3月8日に行われる講義に参加すること
- ④ Bolic 大学で講義を受けること

講演者についての欄 (About the lecturer) の第2文 (He has published ...) に「主に英語統語論 (英語の文法を扱う分野) に関して多くの論文を発表されています」とあるので、syntax が文法を扱う分野だとわかる。表を見ると、その syntax が扱われるのは南ホールで開かれる講義 A だとわかるので、①が正解となる。

②と③はそれぞれ講義 C と講義 B に関する記述で、これらは文法を扱う講義ではないので誤りである。講演者についての欄から、Swain 教授が Bolic 大学で教えているとわかるので、確かにそこで講義を受ければ英語の文法について学べる可能性はあるが、日本の高校で行われる講義の案内という文脈から考えて、④の内容が「最もする可能性がある」ことにはならないので、④も誤りとなる。

主な語句・表現

[リード文]

[案内]

[設問・選択肢]

・問題冊子を参照のこと。

- ◇ notice 「案内；広告」
- ◇ lecture 「講義；講演」
- ◇ leading scholar 「先導的な学者；一流の学者」
- ◇ field 「分野」
- ◇ a series of ... 「連続した…；一連の…」
- ◇ consist of ... 「…から構成される；…に分かれている」
- ◇ content 「内容」
- ◇ syntax 「統語論」
- ◇ vocabulary 「語彙」
- ◇ phonology 「音韻論」
- ◇ auditorium 「講堂」
- ◇ register for ... 「…に登録する」
- ◇ up to ... 「最大で…」
- ◇ prior knowledge 「前提知識」
- ◇ require 「…を必要とする」
- ◇ lecturer 「講演者」
- ◇ publish 「…を出版する；…を発表する」
- ◇ article 「論文；記事」
- ◇ mainly 「主に」
- ◇ deal with ... 「…を扱う」
- ◇ famous for ... 「…のことで有名な」
- ◇ research 「研究」
- ◇ look forward to -ing 「-することを楽しみにする」
- ◇ opportunity 「機会」
- ◇ practice -ing 「-することを練習する」
- ◇ hand in ... 「…を提出する」
- ◇ application 「申し込み用紙」
- ◇ invite 「…を招待する」
- ◇ in order to - 「-するために」
- ◇ take part in ... 「…に参加する」
- ◇ attend 「…に出席する」
- ◇ at least 「少なくとも」
- ◇ background knowledge 「背景知識」
- ◇ submit 「…を提出する」
- ◇ be likely to - 「-するだろう；-する可能性が高い」
- ◇ conversation 「会話」
- ◇ custom 「慣習；習慣」
- ◇ brief 「短い」
- ◇ held 「開催される」 hold 「…を開催する」の過去分詞形。
- ◇ participate in ... 「…に参加する」

第2問

解答

- A 問1 - ② 問2 - ① 問3 - ② 問4 - ① 問5 - ④ (各2点)
 B 問1 - ③ 問2 - ② 問3 - ③ 問4 - ④ 問5 - ② (各2点)

A 4店のレストランを評価するランキングと批評家たちのコメントの読み取りを通して、比較的単純で短い文や易しい語彙で書かれている文章の概略や要点を理解し、必要な情報を探す力を問う。語数は約190語。

出典

Original Material

全訳

あなたはバレンタインデーに向けてイギリスのロンドンにあるレストランを探しており、その地域のレストラン対決についての文章を読んでいる。デートのために1軒のレストランに予約を取りたいと思っている。

項目	料理	サービス	内装	合計
レストラン名	★★★★★	★★★★★	★★★★★	
ファンク・シャック	1.3	2.0	1.7	5
メドウ・イン	3.9	3.8	5.0	12.7
オサリバンズ	4.1	4.7	3.9	12.7
ザ・ローズ・パブ	4.3	3.9	4.5	12.7

フルーム氏	ザ・ローズ・パブで給仕スタッフのタイミングが、特にのろのろして面白みのないメドウ・インのサービス提供と比較して、すばらしいと感じた。オサリバンズの中華料理とイギリス料理の融合は巧みだったが、常にうまくいっていたわけではなかった。
キング氏	オサリバンズは意表をついた料理をいくつか提供した！ 誰にとってもとは多分ならないだろうが、私にとっては勝者だ！ 給仕スタッフはメニューを熟知。ザ・ローズ・パブではスタッフが当てにならないように思われた。メドウ・インの陽気な雰囲気は大いに気に入った！
タッカー氏	大好物の料理を出してくれたオサリバンズに感謝！ だがメドウ・インからヒントをもらった方がいい。壁をもっと明るく、もっと陽気な色に塗ることだ。

1店の例外はあるが、すべてのレストランが同点となった！ 料理に関しては、その3店はどれも悪いところは何1つとしてなかったのだから、我々評論家は、サービスがランキングのトップとなる要素であるべき、ということで全員の意見が一致した。 2位と3位を決める際、タッカー氏はほとんどの人は料理がおいしければ内装はそれほど気にしないと指摘した。フルーム氏と私もそう考える。

設問解説

問1 6 正解②

「評論家の最終判定に基づけば、どのレストランの装飾が最もよかったか」 6

- ① ファンク・シャック
 ② メドウ・イン
 ③ オサリバンズ
 ④ ザ・ローズ・パブ

「レストラン評論家による星★ランキング」表にある3つの項目のうち、Décorの意味がわからなくとも、Foodは「料理」、Serviceは「サービス」であることから、残る項目のDécorが「装飾；内装」といった意味を表す語だと推測できるはずである。この項目で最も高い5.0ポイントを獲得しているのがメドウ・インであるので、正解は②となる。

問2 7 正解①

「好意的なコメントと批判的な意見の両方を述べているのはどの審査員か」 7

- ① 審査員全員
 ② フルーム氏
 ③ キング氏
 ④ タッカー氏

フルーム氏は、好意的な意見として、ザ・ローズ・パブで給仕スタッフのタイミングがすばらしかったこととオサリバンズの中華料理とイギリス料理の融合が巧みだったことを評価し、批判的な意見として、メドウ・インのサービス提供がのろのろして面白みがなかったことと、オサリバンズの中華料理とイギリス料理の融合が常にうまくいっていたわけではなかったと指摘している。

キング氏は、好意的な意見として、オサリバンズが意表をついた料理をいくつか提供したことと給仕スタッフがメニューを熟知していたこと、さらにメドウ・インの陽気な雰囲気よかったことを評価し、批判的な意見として、ザ・ローズ・パブではスタッフが当てにならないように思われたと指摘している。

タッカー氏は、好意的な意見として、オサリバンズが大好きな料理を出してくれたことを評価し、批判的な意見として、同店の壁の色は明るく陽気な色に塗り替える必要があると指摘している。

以上のことから、審査員全員が好意的なコメントと批判的な意見の両方を述べていることがわかるので、①が正解となる。

問3 8 正解②

「評論家独自の意見における1つの事実は8」ということである

- ① ザ・ローズ・パブでは長く料理を待つことは決していない
 ② オサリバンズは2カ国の食文化を融合させている
 ③ ファンク・シャックに関し、審査員は意見を一致させることができなかった
 ④ メドウ・インの壁の色は魅力的である

フルーム氏はその意見の第2文(O'Sullivan's fusion of ...)で「オサリバンズの中華料理とイギリス料理の融合は巧みだったが、常にうまくいっていたわけではなかった」と述べているが、中華料理とイギリス料理の融合が「巧みだった」こと、あるいはその融合が「常にうまくいっていたわけではなかった」ことはフルーム氏の主観に基づいた「意見」だとしても、オサリバンズが中華料理とイギリス料理を融合させていたことは「事実」とであるとみなせるので、正解は②となる。

①に関しては、フルーム氏がその意見の第1文(I felt that ...)で「ザ・ローズ・パブで給仕スタッフのタイミングがすばらしいと感じた」と述べていることから、「ザ・ローズ・パブでは長く料理を待つことは決していない」というのは事実ではなく意見であるとみなせ

るので誤り。③に関しては、評論家3人が述べている独自の意見の中では、ファンク・シャックに関する言及がまったくなされていないので誤り。④に関しては、タッカー氏がその意見の第2文(But take a ...)～第3文(Paint the walls ...)で、オサリバンズに関し、メドウ・インからヒントをもらって壁をもっと明るく陽気な色に塗った方がいい、と述べていることから、タッカー氏にとってメドウ・インの壁の色は魅力的だったと推測できるが、これは事実ではなく、タッカー氏の主観に基づく個人的意見であるとみなせるので、誤り。

問4 9 正解①

「評論家の共同判定から得られる1つの意見は9」ということである

- ① トップのレストラン3店はみな満足できる料理を提供している
- ② 料理の質より内装を改善することの方が必要となる技術は少なく済む
- ③ タッカー氏はあることを指摘し、他の者も同意した
- ④ 評論家は話し合いによって勝者を選んだ

評論家の共同判定における第2文(When it comes ...)で、「料理に関しては、その3店はどれも悪いところは何1つとしてなかった」とある。この店の料理は素晴らしいとか別の店より劣っているといった評価は主観に基づく意見であるとみなせるので、①が正解となる。

②に関しては、「料理の質より内装を改善することの方が必要となる技術は少なく済む」という内容は言及されていないので誤り。③に関しては、評論家の共同判定における第2段落第1文(When deciding second ...)～最終文(Mr Frome and ...)で、「2位と3位を決める際、タッカー氏はほとんどの人は料理がおいしければ内装はそれほど気にしないと指摘した。フルーム氏と私もそう考える」と述べられているが、これは意見ではなく事実であるとみなせるので誤り。④に関しては、評論家の共同判定から、3店が同じ12.7ポイントを獲得して同点首位となったが、サービスがランキングのトップとなる要素であるべきということで評論家全員の意見が一致し、それを基準とした話し合いによって勝者を選んだと推測できるが、それは意見ではなく事実であるとみなせるので誤り。

問5 10 正解④

「評論家の共同評価に基づけば、以下のうちのどれが最終ランキングとなるか」10

	第1位	第2位	第3位
①	メドウ・イン	オサリバンズ	ザ・ローズ・パブ
②	メドウ・イン	ザ・ローズ・パブ	オサリバンズ
③	オサリバンズ	メドウ・イン	ザ・ローズ・パブ
④	オサリバンズ	ザ・ローズ・パブ	メドウ・イン
⑤	ザ・ローズ・パブ	メドウ・イン	オサリバンズ
⑥	ザ・ローズ・パブ	オサリバンズ	メドウ・イン

評論家の共同判定から、3店が同じ12.7ポイントを獲得して同点首位となったが、第1段落第2文(When it comes ...)後半で「我々評論家は、サービスがランキングのトップとなる要素であるべき、ということで全員の意見が一致した」と述べられていることから、同点首位3店の中でサービスのポイントが4.7と最も高かったオサリバンズが第1位を獲得したことがわかる。さらに、第2段落第1文(When deciding second ...)～最終文(Mr Frome and ...)に「2位と3位を決める際、タッカー氏はほとんどの人は料理がおいしければ内装はそれほど気にしないと指摘した。フルーム氏と私もそう考える」とあり、このことは第2位と第3位を決定するにあたっては内装のポイントよりも料理のポイントの方が優先されることを意味する。メドウ・インとザ・ローズ・パブの料理のポイントはそれぞれ3.9と4.3であるので、ザ・ローズ・パブが第2位、メドウ・インが第3位と確定したことがわかる。以上のことから正解は④となる。

主な語句・表現

[ランキング表]

・問題冊子を参照のこと。

- ◇ critic 「批評家；評論家」
- ◇ condition 「条項；項目」
- ◇ decor 「(室内) 装飾；内装」 フランス語由来の語で décor とも綴る。

[意見・共同判定]

- ◇ server 「給仕する人；ウェイター、ウェイトレス」
- ◇ compared to ... 「…と比較して」
- ◇ delivery 「配達；サービスの提供」
- ◇ fusion 「融合」
- ◇ serve up ... 「(レストランなどがある種の料理) を出す」
- ◇ wait staff 「給仕スタッフ」
- ◇ summarise 「…を要約する」
- ◇ exception 「例外」
- ◇ tie 「同点になる」
- ◇ when it comes to ... 「…ということになると；…に関しては」
- ◇ point out that ... 「…と指摘する」
- ◇ care about ... 「…を気にする」

[設問・選択肢]

- ◇ based on ... 「…に基づけば」
- ◇ decorate 「…を装飾する」
- ◇ critical 「批判的な」
- ◇ original 「独自の」
- ◇ evaluation 「評価」
- ◇ decent 「満足できる；立派な」
- ◇ take 「…を必要とする」
- ◇ indicate 「…を指摘する」
- ◇ pick 「…を選ぶ」

B 学校における制服着用の是非についてのディベートに関する準備をする場面で、平易な英語で書かれた短い文章の読み取りを通じて、その概要や要点をとらえる力や、書き手の意見を把握する力を問う。語数は約 290 語。

出典

Original Material

全訳

あなたの英語の先生が、あなたが次の授業でのディベートの準備をする手助けとなる記事をくれた。記事に対するコメントのうちの1つとともにこの記事の一部が以下に挙げられている。

生徒は制服を着用すべきか？

ロジャー・ホワイト ニューヨーク

2019年10月20日 17:15

アメリカは少しずつ学校での制服の使用を取り入れている。国立教育統計センターが2018年に公表した数値によれば、生徒に学校用制服の着用を求める公立学校の割合は、1999年の12パーセントから2015年には21パーセントに上昇した。別の調査からは、大都市の公立学校に通う生徒の41パーセントが制服を着用していることが明らかとなった。特にフィラデルフィアでは、公立学校の全生徒が制服を着るよう求められている。

では、学校用制服を着用することの利点は何だろうか。ある教員は次のように述べた。「まず、生徒間での平等を推進し、いじめを減らすことができます。生徒の中には高価な服を持っている者がいますが、そうでない者もあります。これが時としていじめにつながるのです。さらに、部外者が校内に侵入した場合でも、制服がある方が容易にその人物が部外者だとわかります。安全の観点からも、この方針は望ましいのです」

しかしながら、すべての親がこの方針に賛成しているわけではない。ある親たちは「学校用制服を着用するという方針は、生徒の持つ表現の自由を侵害しています。生徒は自分の気に入った服を着るべきなのです」と言った。また別の親たちはこう述べた。「今は移民の子どもたちがたくさんいて、彼らは私たちとは異なる価値観や習慣を持っています。こういった時代には、多様性を尊重しなくてはなりません。『画一性』ではなくてね」

17 コメント

最新

ケイト・トンプソン 2019年10月22日 21:05

この方針わかります。毎朝何を着たらよいか考える必要がないんですから。その上、一体感が生まれる可能性もありますし。でも同時に、制服を買う余裕がない生徒がいるかもしれませんね。時には値段が500ドルを超えてしまうこともあるそうですから。

設問解説

問1 11 正解③

「記事によると、フィラデルフィアの公立学校の生徒は11」

- ① 親に学校の制服を買うように頼むことを強制されている
- ② 自分たちが好きなものを何でも自由に着られる
- ③ 自分たちが望むような服を着ることが許されていない
- ④ 毎日服装を変える気がない

フィラデルフィアの公立学校の生徒に関する記述は第1段落最終文 (In Philadelphia, especially, ...) にあり、「全生徒が制服を着るよう求められている」と述べられているので、これと一致する③が正解である。

①のような内容は本文中で述べられていない。②は第1段落最終文の内容に合わないので誤り。④のような内容も、本文中で全く述べられていない。

問2 12 正解②

「あなたのチームは『すべての生徒は学校の制服を着用すべきである』というディベート・テーマを支持する。記事の中で、あなたのチームに役立つ1つの意見は12ということだ」

- ① 学校の制服を着る方が何を着るかを選ぶよりも費用が安い
- ② 学校の制服は生徒にとってより安全な環境を生み出す
- ③ 公立学校のイメージが本当に改善される
- ④ 犯罪を犯す生徒の数が減少する

制服の着用を支持するチームにとって役立つ意見は、制服を着用することの長所が述べられている第2段落に記されている。この段落では一教員の意見として、「生徒間での平等を推進していじめが減る」という長所と「部外者の判別がつきやすく安全面で望ましい」という長所が述べられており、後者の長所に一致する②が正解となる。

他の①・③・④の各選択肢の内容は、制服着用の長所として本文中で述べられてはいないので、正解とはならない。

問3 13 正解③

「相手のチームはこのディベート・テーマに反対する。記事の中でそのチームに役立つ1つの意見は13ということだ」

- ① 公立学校の教員が自分たちの好きな服を着るのは公平ではない
- ② 制服を要求することは公立学校の社会的地位に影響を及ぼさない
- ③ 学校の制服は生徒の持つ自己表現の能力を制限する
- ④ 一部の親は自分たちの好きな服を子どもに買ってあげられない

制服の着用に反対するチームにとって役立つ意見は、制服を着用することの短所が述べられている第3段落に記されている。この段落では親の発言として、「生徒の表現の自由を侵害するものだ」という短所と「多様性の尊重につながらない」という短所が述べられており、前者の短所に一致する③が正解となる。

他の①・②・④の各選択肢の内容は、制服着用の短所として本文中で述べられてはいないので、正解とはならない。

問4 14 正解④

「記事の第3段落において、『こういった時代には』は『14時代には』という意味である」

- ① すべての人々が何らかの種類の制服を着用しなくてはならない
- ② 個人の人権がある程度まで制限されている
- ③ 情報が人々の生活の中で大変重要な役割を果たしている
- ④ 様々な文化的背景を持った人々が一緒に暮らしている

この「こういった時代には (In this day and age)」という表現の this が指しているのは、直前の英文 (And others said, ...) の「今は移民の子どもたちがたくさんいて、彼らは私たちとは異なる価値観や習慣を持っています」という内容と考えられ、そのように判断すれば、「多様性を尊重しなくてはなりません」という後続の文脈とも合う。よって、この内容に最も近い④が正解となる。

他の①・②・③の選択肢の内容は、いずれも本文中で述べられていない。

問5 15 正解②

「コメントから判断すると、ケイト・トンブソンは記事で述べられている方針に15である」

- ① 無関心
- ② 部分的に賛成
- ③ 全面的に賛成
- ④ 全面的に反対

ケイト・トンブソンのコメントでは、第2文 (You don't need ...) と第3文 (Moreover, a sense ...) で制服着用 of 長所として、「毎朝何を着たらよいか考える必要がない」「一体感が生まれる」の2点を挙げている。しかし彼女は、第4文 (But at the ...) と最終文 (I hear the ...) では「経済的に制服を買えない生徒もいるかもしれない」という短所も挙げている。以上より、正解は②「部分的に賛成」となる。

主な語句・表現

・問題冊子を参照のこと。

[リード文]

- ◇ article 「記事；論文」
- ◇ help O - 「O が-するのを助ける」
- ◇ prepare for ... 「...の準備をする」
- ◇ below 「以下に」

[第1段落]

- ◇ adopt 「...を取り入れる」
- ◇ figure 「数値」
- ◇ statistics 「統計」
- ◇ public school 「(米国の) 公立学校」
- ◇ increase 「増加する」
- ◇ survey 「調査」
- ◇ according to ... 「...によると」
- ◇ publish 「...を公表する」
- ◇ proportion 「割合；比率」
- ◇ require A to - 「A に-するように求める」
- ◇ another 「別の；もうひとつの」
- ◇ especially 「特に」

[第2段落]

- ◇ advantage 「利点」
- ◇ equality 「平等」
- ◇ bullying 「いじめ」
- ◇ besides 「さらに；他にも」
- ◇ recognize 「...だとわかる」
- ◇ security 「安全」
- ◇ desirable 「望ましい」
- ◇ promote 「...を推進 [促進] する」
- ◇ reduce 「...を減らす」
- ◇ lead to ... 「...につながる」
- ◇ outsider 「部外者」
- ◇ in terms of ... 「...の観点から」
- ◇ policy 「方針；政策」

[第3段落]

- ◇ agree with ... 「...に賛成 [同意] する」
- ◇ freedom 「自由」
- ◇ favorite 「お気に入りの；好きな」
- ◇ value 「価値 (観)」
- ◇ in this day and age 「こういった時代には」
- ◇ respect 「...を尊重 [尊敬] する」
- ◇ uniformity 「画一性；同一性」
- ◇ violate 「...を侵害する」
- ◇ expression 「表現」
- ◇ immigrant 「移民 (の)」
- ◇ custom 「習慣；慣習」
- ◇ diversity 「多様性」

[コメント]

- ◇ moreover 「さらに；その上」
- ◇ at the same time 「同時に」
- ◇ can't afford ... 「...を買う (経済的な) 余裕がない」
- ◇ reach over ... 「...を超えるところまで達する」
- ◇ a sense of togetherness 「一体感」

[設問・選択肢]

- ◇ force O to - 「O に-するよう強制する」
- ◇ free to - 「自由に-して [できて]」
- ◇ dress 「服装をする；服を着る」
- ◇ willing to - 「-する気がある」
- ◇ opinion 「意見」
- ◇ it will cost less to - 「-する方が費用が安い (だろう)」
- ◇ create 「...を造る；...を生み出す」
- ◇ commit crimes 「犯罪を犯す」
- ◇ oppose 「...に反対する」
- ◇ as they like 「彼らが好きなように」
- ◇ social status 「社会的地位」
- ◇ ability to - 「-する能力」
- ◇ human rights 「人権」
- ◇ to some extent 「ある程度」
- ◇ various 「様々な」
- ◇ background 「背景」
- ◇ mention 「...に言及する；...のことを述べる」
- ◇ partly 「部分的に；ある程度は」
- ◇ disagree with ... 「...に反対する；...と意見が異なる」
- ◇ ask O to - 「O に-するよう頼む」
- ◇ permit O to - 「O が-するのを許す」
- ◇ the way S V ... 「S V...するように」
- ◇ support 「...を支持する」
- ◇ helpful for ... 「...に役立つ」
- ◇ improve 「...を改善する」
- ◇ decrease 「減少する」
- ◇ fair 「公平な」
- ◇ effect 「影響；効果」
- ◇ limit 「...を制限する」
- ◇ individual 「個人 (の)」
- ◇ restrict 「...を制限する」
- ◇ play a ... role 「...な役割を果たす」
- ◇ cultural 「文化的な」
- ◇ judging from ... 「...から判断すると」
- ◇ totally 「完全に；全面的に」

第3問

解答

- A 問1 - ① 問2 - ④ (各3点)
 B 問1 18 - ③ 19 - ④ 20 - ① 21 - ② (完答で3点)
 問2 - ③ 問3 - ② (各3点)

A インターネットのホームページに掲載された科学博物館に関する投稿をイラストと合わせて読み、比較的易しい語彙で書かれた人物の行動や場所についての概略や要点を理解し、必要な情報を探す力を問う。語数は約240語。

出典

Original Material

全訳

あなたの友人であるイギリス人のピッパが少し前にしゃれた博物館から戻って来て、自分のホームページにそれに関する投稿をしたところだ。

ようこそ、もう一つの世界ペブルトン科学博物館へ。
 〈ピッパの投稿—2021年3月16日20時21分〉

ペブルトン科学博物館についてはすばらしい話を聞いていましたが、ついに今日そこへ行ってきました！ しゃれたものがたくさんあって、とってもインタラクティブなんです！

4Dシアターはすてきでした。ロケットショーで月まで飛んでいく体験を非常に楽しみにしていました。その前に、1階の恐竜エリアを巡るガイド付きツアーに参加する時間がありました…がそう思えただけの話。モダンモデルは超リアルでした！ とってもよかったので私たちは時間が経つのも忘れて、2階上のちょっとわかりにくい未来のモデル都市の街路を苦勞して通り抜けてロケットショーへと続くエスカレーターにたどり着いた時には、ショーは半分終わっていました。でも気にしません。その代わりに帰路につく直前に別のショーを見ることができたのですから！

未来のモデル都市は見逃しちゃダメです。運転手のいない乗り物や環境にやさしいテクノロジーが印象的で、AIロボットたちは実際とてもキュート！ たくさんのボタンがあって、押すとワクワクドキドキの結果に一これ以上は言わないようにしましょう！ あっそうだ、長い興奮の1日の後に、もしお腹が空いたらカフェに行くのを忘れないで。お薦めはムーンケーキ。このカフェの中に入らなければ博物館見学は完璧だとは言えません。私はそこですてきな休憩をとってから1階上の私たちにとっての終着点へと昇って行きました。

4階	4Dシアター
3階	カフェ、未来のモデル都市
2階	プラネタリウム
1階	恐竜エリア

設問解説

問1 16 正解①

「ピッパの投稿から16ことがわかる」

- ① モデル都市の設計は少し複雑だった
- ② 恐竜のガイドが語った話は恐ろしかった
- ③ 本物のロケットの中に座る体験ができる
- ④ カフェの食べ物はモデル都市の中に持ち込める

ピッパの投稿の第2段落第5文 (It was so ...) に「…2階上のちょっとわかりにくい未来のモデル都市の街路を苦勞して通り抜けてロケットショーへと続くエスカレーターにたどり着いた時には…」とあることから、「モデル都市の設計は少し複雑だった」と推測できるので、正解は①となる。

②, ③, ④に関しては、ピッパの投稿には言及されていない内容なのでいずれも誤り。

問2 17 正解④

「ピッパは博物館での1日を何階で終えたか」17

- ① 1階
- ② 2階
- ③ 3階
- ④ 4階

イラストで示されたペブルトン科学博物館のフロアガイドの各階は上から順に3rd Floor, 2nd Floor, 1st Floor, The Ground Floorとなっているが、これはイギリス英語の表記であり、アメリカ英語および日本語ではそれぞれ4th Floor「4階」、3rd Floor「3階」、2nd Floor「2階」、1st Floor「1階」のことになる。

ピッパの投稿の第3段落最終文 (I had a ...) に「私はそこですてきな休憩をとってから1階上の私たちにとっての終着点へと昇って行きました」とあるが、「そこで」というのは3文前の「カフェ」のことを指しており、カフェはフロアガイドのイラストから3階にあるとわかる。ピッパはその後「1階上の私たちにとっての終着点へと」昇って行ったのだから、その日の終着点は4階(4Dシアターがある)であると判断できる。よって正解は④。

主な語句・表現

[リード文]

・問題冊子を参照のこと。

- ◇ cool「しゃれた；かっこいい；すてきな」
- ◇ post「〈ウェブ上にメッセージなどを〉投稿する」
- ◇ webpage「ウェブページ；ホームページ」

[投稿文]

- ◇ alternative「別の；もう一つの」
- ◇ stuff「〈漠然と〉物」
- ◇ interactive「〈コンピューターなどが〉インタラクティブな；双方向の」
- ◇ 4D theatre「4Dシアター」 4Dとは音声・映像といった視覚や聴覚以外の、嗅覚や触覚といったリアルな体感要素のこと。theatreはイギリス英語の表記。アメリカ英語ではtheater。
- ◇ or so S thought「気のせいかもしれない；わからないけど；そう思えただけ」 結果的にちょっと考えたら間違っていたかもしれないということを表す場合に使う。(例) He hates me, or so I thought. 「彼はわたしが嫌いなんですよ。気のせいかもしれないけど」
- ◇ terribly「とても；すごく」
- ◇ realistic「本物のような；リアルな」
- ◇ so good (that) we lost ... 《so+〈形容詞・副詞〉+that...》構文「とても〈形容詞・副詞〉なので…」のthatはしばしば省略される。
- ◇ lose track of time「時間の経過を忘れる」
- ◇ by the time S V「SVする時まで(は)」
- ◇ find one's way「苦勞して進む」
- ◇ slightly「少し；わずかに」
- ◇ confusing「わかりにくい」
- ◇ over「終わる」

- ◇ (We) never mind 「気にしない」
- ◇ environmentally-friendly 「環境にやさしい」
- ◇ cute 「キュートな；かわいい；魅力的な」
- ◇ recommend 「…を薦める」
- ◇ ... before -ing 「…してから-する；-する前に…する」 (例) You should think before speaking. 「考えてから言いなさい」
- ◇ vehicle 「乗り物」
- ◇ not ... anymore 「これ以上…ない」

[設問・選択肢]

- ◇ layout 「設計」
- ◇ frightening 「恐ろしい」
- ◇ complicated 「複雑な」

B 平易な英語で書かれた高校生の体験談に関する文章の読み取りを通じて、書かれている内容の概要を把握する力を問う。語数は約 320 語。

出典

Original Material

全訳

あなたは海外からの留学生向けの雑誌で次のような話を見つけた。

祖父にとって学問の意味

ある日、僕が家に帰ると、同居している祖父が大学入試に関する本を読んでいるのに気づきました。なぜそんな本を読んでいるのかと尋ねると、祖父は、また大学に通う準備をしているのだと言いました。最初は、僕は祖父の言うことを信じず、冗談を言っているだけだと思っていました。ところが、祖父は本気だとわかりました。祖父は、英語や数学といった科目の教科書も買っていたのです。祖父は家族の誰にも何も言っていなかったもので、僕たちはみんな驚きました。

数日後、僕は思い切って、何を勉強するつもりなのかと祖父に聞いてみました。児童心理学のような、教師としての祖父の仕事に関連した科目だろうと僕は思っていました。祖父ははっきりと話してはくれなかったのですが、「私は、田舎に住んでいた幼い頃、夜空を見上げて、恒星や惑星の名前を言おうと試みるのが大好きだったんだ。恒星や惑星が本当に魅力的に感じられたんだよ。歴史の教師として働いている時ですら、星の神秘について私の興味をいっそう引いてくれるような本をたくさん読んだものさ。だから私は大学に行こうと決心したんだ。もっと学びたいんだよ」と語ってくれました。祖父の話聞いて、僕は祖父の知的好奇心を深く尊敬するようになりました。

それ以来、祖父と僕はリビングでよく一緒に勉強しています。祖父の隣に座っているのがこんなに心地よく感じられるなんて思いもしませんでした。それは、僕たちが目標に向かってともに一生懸命頑張っている友人であるかのような気分です。そして、祖父が知識を得るためだけに勉強している様子を目にして、なぜ自分が勉強すべきなのかに関する僕の考えは変わりました。何かを学ぶためには実用的な目的は必要ではないということが、僕にははっきりしたのです。今では僕は、入試に合格することが実用的な問題であるとは必ずしも思っていません。それは実際は、広大な知識の世界に入っていくための1つの道なのかもしれないのです。

アキヤマ サトル (高校生)

設問解説

問1 正解 18 ③ 19 ④ 20 ① 21 ②

「この物語によると、祖父に対するサトルの感情は以下の順序で変化した：18 → 19 → 20 → 21」

- ① 称賛
- ② 親密さ
- ③ 疑い
- ④ 驚き

第1段落第2文 (When I asked ...) で祖父から「また大学に通う準備をしている」と聞いたサトルは、続く第3文 (At first, I ...) で「僕は祖父の言うことを信じず、冗談を言っているだけだと思っていました」と述べているので、最初に来るべき感情は③「疑い」である。次に、同段落最終文 (He had said ...) に、家族に黙って大学入試を受ける準備を進めていた祖父の行動を知って、「僕たちはみんな驚きました」とあるので、2番目に来る感情としては④「驚き」が適切である。第2段落で、大学で何を勉強したいのかと祖父に尋ねたサトルに対し、祖父は自分の考えを告白している。その考えを聞いたサトルは、第2段落最終文 (Hearing his story, ...) で「祖父の話聞いて、僕は祖父の知的好奇心を深く尊敬するようになりました」と述べている。選択肢に含まれる単語の中で、「尊

敬」にもっとも近い意味を持つのは① admiration「称賛」なので、これが3番目に来る。最後に、同じ目標に向かって祖父と一緒に勉強するようになったサトルの心情が説明されている最終段落第2文 (I never thought ...) および第3文 (It is almost ...) で「祖父の隣に座っているのがこんなに心地よく感じられるなんて思いもしませんでした。それは、僕たちが目標に向かってともに一生懸命頑張っている友人であるかのような気分です」と述べられており、選択肢に含まれる単語の中でこの感情を表すのにもっとも適切な単語は② closeness「親密さ」と判断できる。よって正解は③→④→①→②の順番になる。

問2 22 正解 ③

「サトルの祖父はおそらく大学で22について勉強するつもりである」

- ① 児童心理学
- ② 田舎での生活
- ③ 宇宙
- ④ 世界史

第2段落の祖父のセリフの引用の中で、祖父は、自分が子どもの頃から夜空の星に対して興味を持っており、教師として働いている間も、星の神秘に関する興味深い書物を数多く読んできたと述べている (... interested in their secrets の their は the stars and planets を指している)。このような内容を受けて、告白の最後の2文 (That's why I've ... I want to ...) で「だから私は大学に行こうと決心したんだ。もっと学びたいんだよ」と祖父が述べているので、③の the universe「宇宙」が正解となる。

第2段落第2文 (I thought it ...) に「児童心理学のような、教師としての祖父の仕事に関連した科目だろうと僕は思っていました」と述べられているが、これはサトルの誤った思い込みであると判明するので、①は正解ではない。②に関しては、祖父は第2段落のセリフの中で自分が田舎に住んでいたときの話をしているが、これは「田舎での生活」について祖父が勉強する予定であるということの意味するものではない。④に関しては、第2段落のセリフの中で祖父は「(自分が) 歴史の教師として働いている間も…」と述べているが、これは祖父が新たに入学しようと思っている大学で「歴史」を勉強するつもりであることを示していないので、④「世界史」も誤りである。

問3 23 正解 ②

「この物語からわかったのは、サトルの祖父は23ということである」

- ① 学問の意味を理解していなかったので大学では非常に不幸に感じていた
- ② 新しい物事を学ぶためだけに勉強をすることもできるのだとサトルに気づかせた
- ③ 自分の願いを実現するために若い頃はとて一生懸命勉強した
- ④ サトルが人生の意味を見つけ出すのを手助けするために自分の家族の話をした

第2段落最終文 (Hearing his story, ...) で「祖父の話聞いて、僕は祖父の知的好奇心を深く尊敬するようになりました」と述べたサトルは、最終段落第4文 (And seeing the ...) および第5文 (It's clear to ...) で、「そして、祖父が知識を得るためだけに勉強している様子を目にして、なぜ自分が勉強すべきなのかに関する僕の考えは変わりました。何かを学ぶためには実用的な目的は必要ではないということが、僕にははっきりしたのです」と、自分の心情の変化を述べている。空所に②が入れば、「サトルの祖父は『新しい物事を学ぶためだけに勉強をすることもできるのだとサトルに気づかせた』」という文意になり、上記の文脈に合うので、②が正解となる。

「サトルの祖父が大学で不幸に感じていた」という内容の記述は本文中にないので、①は誤りである。祖父は現在は「自分の願いを実現するために」一生懸命勉強しているが、若い頃もそうであったという内容の記述は本文中にないので、③も正解にはならない。④のような内容も本文中ではまったく述べられていない。

主な語句・表現

[リード文]

- ◇ following「次に述べる；以下の」
- ◇ overseas「海外（から）の；海外へ」

[タイトル]

- ◇ meaning「意味」

[第1段落]

- ◇ one day「(過去の) ある日；(未来の) いつの日か」
- ◇ find O-ing「Oが-しているのに気づく」
- ◇ entrance exam「入学試験」
- ◇ prepare to - 「-する準備をする」
- ◇ at first「最初（のうち）は」
- ◇ make a joke「冗談を言う」
- ◇ it turned out S V ... 「S V...ということがわかった」 S V ... の直前に接続詞の that が省略されている。
- ◇ serious「本気の；真面目な」
- ◇ textbook「教科書」
- ◇ such as ... 「(たとえば) ...のような；...といった」
- ◇ amazed「驚いた；びっくりした」

[第2段落]

- ◇ ... later「…後に」
- ◇ dare to - 「思い切って-する；あえて-する」
- ◇ subject「科目」
- ◇ related to ... 「…に関連した」
- ◇ career「職業；仕事」
- ◇ child psychology「児童心理学」
- ◇ directly「はっきりと；直接に」
- ◇ the country「田舎」
- ◇ look up at ... 「…を見上げる」
- ◇ try to - 「-しようと試みる」
- ◇ name「…の名前を言う」
- ◇ star「星；恒星」
- ◇ planet「惑星」
- ◇ completely「完全に；すっかり」
- ◇ fascinating「魅力的な」
- ◇ all the more ... 「いっそう [ますます] …」
- ◇ interested in ... 「…に興味を持った」
- ◇ That's why ... 「だから…；それが…の理由だ」
- ◇ decide to - 「-しようと決心する」
- ◇ deeply「深く」
- ◇ respect「…を尊敬する」
- ◇ intellectual「知的な；知性の」
- ◇ curiosity「好奇心」

[最終段落]

- ◇ comfortable「心地よい；快適な」
- ◇ next to ... 「…の隣に」
- ◇ as if ... 「まるで…かのように」
- ◇ goal「目標；目的」
- ◇ the way S V ... 「S V...する方法 [様子]」
- ◇ purely「ただ単に；純粋に」
- ◇ gain「…を得る」
- ◇ knowledge「知識」
- ◇ practical「実用的な；現実的な」
- ◇ purpose「目的」
- ◇ not necessarily ... 「必ずしも…とは限らない」 部分否定を表す。
- ◇ regard O as ... 「Oを…と見なす [思う]」
- ◇ pass「…に合格する」
- ◇ actually「実際は；本当は」
- ◇ huge「広大な；巨大な」

[設問・選択肢]

- ◇ according to ... 「…によると」
- ◇ order「順序」
- ◇ admiration「称賛；敬服」
- ◇ closeness「親密さ；近いこと」
- ◇ doubt「疑い；疑念」
- ◇ surprise「驚き」
- ◇ plan to - 「-するつもりである」
- ◇ universe「宇宙」
- ◇ unhappy「不幸な；悲しい」
- ◇ realize「…だと気づく；…を認識する」
- ◇ simply「ただ単に」
- ◇ make his wishes come true「自分の願いを實現する」 make は使役動詞 (make O 原形動詞「Oを-させる」)。come true で「(夢や願いが) 實現する」という意味。
- ◇ help O - 「Oが-するのを手助けする」

第4問

- 問1 - ③ 問2 - ④ 問3 - ③ (各3点)
 問4 - 27 - ① 28 - ② (各2点)
 問5 - ⑥ (3点)

ペットに関する研究会で行う発表の原案をまとめる上で、2つのメッセージと2つの表・グラフの内容を読み取ることを通して、各メッセージの意図を把握し、表・グラフから必要な情報を得る力を問う。語数は約360語。

出典

Original Material

全訳

あなたはペットに関する研究会を開催する計画を立てている。あなたが見つけた国際的なペット飼育の習慣についての資料を2人のイギリス人パートナーであるメラニーとダスティンにメールした後、あなたは自分たちが話すことのための原案を作成する。

資料:

図1. ペットを所有することにかかる費用 (10億ドル単位)

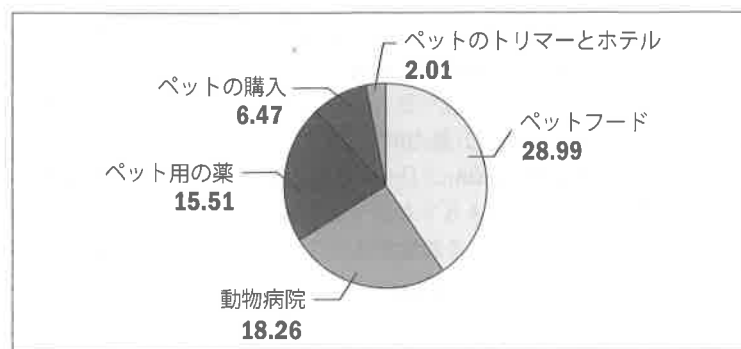


表1. 世界のペット数

国	ペットの犬の数 (単位: 100万匹)	国	ペットの猫の数 (単位: 100万匹)
アメリカ	55.3	アメリカ	80.6
ブラジル	35.7	中国	58.1
中国	27.4	ロシア	18.0
ロシア	12.5	ブラジル	12.5
日本	12.0	フランス	11.4
フィリピン	11.6	イギリス	8.5
インド	10.2	ドイツ	8.2
アルゼンチン	9.2	イタリア	7.5
イギリス	8.5	日本	7.3
フランス	7.4	トルコ	3.1

(参考: Euromonitor, APPA, FEDIAF and sportrichlist.com, via GfK: "Finding your opportunities in the Chinese pet food & treats market," Petfood Forum China 2015)

あなたのメールに対する返信:

こんにちは
 メールをありがとう! ペット用品がとて大きなビジネスになっているなんて知らなかった! ブラジル人はホント犬好きね。ブラジルの約半分の家庭に犬がいるということが読んでわかったわ! それももっともなことだと思う。この10年の間にブラジルは裕福になったことを知っているから。最近では、子どもを持つ代わりにペットを飼うブラジル人が多いということも耳にしたわ。

私たちの都市の至るところでペットショップを見かけるから、ペットの健康にとてたくさんのお金が使われていることに驚きはないわね。ペットを購入する前に人々がそのことに気づいてくれたらいいのだけれど。ペットが道に捨てられる話を聞くのはもううんざり。私としてはこの点に焦点を当てたいと思う。

今後数年で人気になるのはどんなペットかしら。都会の暮らしで最新の傾向はヘビやトカゲだって! でも今回は、あなたは猫や犬を飼う傾向について話した方がいいんじゃないかしら。

ではまた。
 メラニー
 追伸: このメッセージはダスティンにも送信しました。

こんにちは
 すばらしい資料! なんと役に立つことか!

ペットの飼い主が使うお金のグラフは、ペットホテルに使われるお金という点では誤解を招きやすいかも知れない。この業界は、利用可能なペットの世話関連のサービス数とともに、急速に成長しているから。僕はそのことについてみんなに説明したいと思う。

アメリカは猫と犬の数を示す表のトップに立っているけど、近い将来、この通りにはならないかも知れないというのは興味をそそる。北京では以前、犬をペットとして飼うことは違法だったことを知ってたかい。もはやそうではないが。どうやら特に北京の高齢者が連れ合いとして犬を飼っているようだ。

動物が捨てられることに関するメラニーの主張は適切だ。飼い主のいない動物は数百万匹に上るが、動物の権利がますます改善されるようになったために、この状況は変わりつつある。ロシアの首都は野良犬が有名で、よく地下鉄のエスカレーターに乗っており、親切な見知らぬ人が野良犬をかわいがって餌をあげている! 僕はもっと探してみるつもりでいる。このことはまた別の機会に発表できる面白いテーマとなり得るだろう。

ではご機嫌よう。
 ダスティン
 追伸: このメッセージはメラニーのところにも届くことになっている。

あなたの発表原案：

発表のテーマ：	<u>24</u>
発表者	テーマ
メラニー：	<u>25</u>
ダスティン：	<u>26</u>
私：	現在のペット飼育に関する統計
観察例：	<u>27</u> の国民が飼っている犬の数は猫の約3分の2であるが、 <u>28</u> の人々が飼っている猫の数とほぼ同じである。
さらなる研究テーマ：	<u>29</u>

設問解説

問1 24 正解③

「24に最も適するのはどれか」

- ① 猫 vs. 犬：どちらが人々の票を勝ち取るか？
- ② 世界規模でペットをより温かく受け入れている社会
- ③ 人間の動物に対する関係および好み
- ④ 人々がペットを飼う主な理由

メラニーの返信の第1段落第2文 (I had no ...) に「ペット用品がとても大きなビジネスになっている」とあり、第2段落第1文 (I see pet ...) には「ペットの健康にとってもたくさんのお金が使われている」と、また同段落第3文 (I'm fed up ...) には「ペットが道に捨てられる話を聞くのはもううんざり」とある。さらにダスティンの返信の第2段落第2文 (This industry is ...) に「この業界 [ペットホテル業界] は、利用可能なペットの世話関連のサービスの数とともに、急速に成長している」とあり、それらはいずれも人間とペットとしての動物との関係に言及した内容となっている。

加えて、メラニーの返信の第3段落第3文 (But it'd be ...) で述べられている猫や犬を飼う傾向と、ダスティンが返信の第3段落第1文 (It's interesting that ...) で言及している猫と犬の数を示す表は、どちらも人間のペットとしての動物に対する好みに触れている。以上のことから正解は③となる。

①に関しては、「猫 vs. 犬」は発表原案にある表の観察例にすぎず、リード文で述べられている「ペットに関する研究会」という内容には足りないので誤り。②と④に関しては、どちらも2人の返信メールや発表原案で今回の発表のテーマとしては言及されていないので誤り。

問2 25 正解④

「25に最も適するのはどれか」

- ① ペットをどこで手に入れたらいいかということに関して人々を教育すること
- ② ペットの安全を守ることを専門的に行う組織
- ③ ペットに関連したサービスの経済的成功
- ④ ペットを買う前によく考える

25はメラニーの発表テーマである。メラニーは返信の第2段落 (I see pet ...) で、ペットの健康を保つにはとてもたくさんのお金がかかることを人々が認識しないままペットを購入するために、後になって持て余したペットを捨てる人がいることを批判し、最終文 (I'd like to ...) で「私としてはこの点に焦点を当てたいと思う」と述べていることから、正解

は④の「ペットを買う前によく考える」となる。

問3 26 正解③

「26に最も適するのはどれか」

- ① ペットを飼うという点で、中国がアメリカを追い抜くこと
- ② 飼い主のいない動物を見つける方法
- ③ ペットの世話に関連したサービスが人気を増していること
- ④ ペットが公共の交通機関に乗るのを許されること

26はダスティンの発表テーマである。ダスティンは返信の第2段落 (The chart on ...) で、ペットホテル業界は、利用可能なペットの世話関連のサービス数とともに、急速に成長しているために、ペットのトリマーとホテルにかかる費用をかなり少なく示している円グラフは誤解を招きやすいかも知れないと指摘し、最終文 (I want to ...) で「僕はそのことについてみんなに説明したいと思う」と述べていることから、正解は③の「ペットの世話に関連したサービスが人気を増していること」となる。

問4 27 正解① 28 正解②

「あなたはメラニーの考えに同意し、資料に目を向ける。27と28に最も適するのはどれか」

- ① フランス
- ② 日本
- ③ ロシア
- ④ イギリス

発表原案の観察例にある文には「27の国民が飼っている犬の数は猫の約3分の2であるが、28の人々が飼っている猫の数とほぼ同じである」と述べられている。「世界のペット数」を示している表において、飼っている犬の数が猫の約3分の2となっている国は、選択肢の中では①フランス (犬740万匹、猫1,140万匹) と③ロシア (犬1,250万匹、猫1,800万匹) であるとわかる。さらにその2カ国のどちらかが飼っている犬の数とほぼ同じ数の猫を飼っている国は、選択肢の中では②日本 (フランスで飼われている犬740万匹、日本で飼われている猫730万匹) であるとわかる。以上から、27に入る選択肢は①、28に入る選択肢は②ということになる。

問5 29 正解⑥

「29に最も適する組み合わせはどれか」

- A: 家族や友だちがいないことで残された空白を動物が埋めてくれること
- B: ペットの飼育に関する法律がより緩和されること
- C: 人々が路上で生活する動物を助ける話
- D: より流行となりつつあるペットの種類

発表原案の最終項目より29には「さらに研究すべきテーマ」が入るとわかる。メラニーは返信の第3段落 (I wonder what ...) で、「今後数年で人気になるのはどんなペットかしら。都会の暮らしで最新の傾向はヘビヤトカゲだって！ でも今回は、あなたは猫や犬を飼う傾向について話した方がいいんじゃないかしら」と述べていることから、今後人気になるペットに関心があることがわかる。よって「さらに研究すべきテーマ」の組み合わせの一つは選択肢Dの「より流行となりつつあるペットの種類」であると判断できる。

ダスティンは返信の第4段落第3文 (In Russia's capital ...) ~第5文 (It could be ...) で「ロシアの首都は野良犬が有名で、よく地下鉄のエスカレーターに乗っており、親切な見知らぬ人が野良犬をかわいがって餌をあげている！ 僕はもっと探してみるつもりでい

る。このことはまた別の機会に発表できる面白いテーマとなり得るだろう」と述べている。彼が「もっと探してみるつもりでいる」のは、前文で述べられているような親切な人たちが餌をあげるなどして飼い主のいない動物を助けてあげているような事例であると推測でき、それを受けて第5文で「このことはまた別の機会に発表できる面白いテーマとなり得るだろう」と言っていることから、「さらに研究すべきテーマ」の組み合わせのもう一つは選択肢Cの「人々が路上で生活する動物を助ける話」とであると判断できる。

以上から、正解はⒸC、Dということになる。

A、Bに関しては、2人の返信メールや発表原案で「さらに研究すべきテーマ」としては言及されていない。

【主な語句・表現】

【リード文】

- ・問題冊子を参照のこと。
- ◇ seminar 「研究会；セミナー」
- ◇ come up with ... 「〈必要な物〉を作成〔生産〕する」
- ◇ draft 「草案；原案」

【グラフ・表】

- ◇ purchase 「購入」
- ◇ groomer 「トリマー；グルーマー」 ペットの美容師で、毛の手入れや入浴などの世話を
する。

【メール】

- ◇ have no idea (that) S V 「S Vすることを知らない」 that は同格の名詞節を導く接続詞。
- ◇ read (that) S V 「S Vすることを読んで知る」
- ◇ make sense 「道理にかなう；もったもである」
- ◇ I wish S would ... 「…すればいいのだが」 これからの期待感の薄い願望を表す。(例) I wish he would do his best. 「彼には最善を尽くしてもらいたい(ものだが)」
- ◇ be fed up of ... 「…にうんざりしている」 ◇ abandon 「…を捨てる」
- ◇ it'd be better for you to ... 「あなたは…した方がいいでしょう」
- ◇ for now 「今のところ(は)；さしあたり」
- ◇ chat soon 「ではまた」 英文メールの末尾に用いるカジュアルな表現。
- ◇ chart 「図表；グラフ」 ◇ misleading 「誤解を招きやすい」
- ◇ in terms of ... 「…の点から(見ると)」 ◇ along with ... 「…と共に；…と一緒に」
- ◇ pet-sitting 「ペットの世話の」
- ◇ available 「利用可能な」 直前の pet-sitting services にかかっている。
- ◇ top 「〈リストなど〉のトップになる〔首位に立つ〕」
- ◇ used to - 「以前-だった」 ◇ illegal 「違法の」
- ◇ Beijing 「北京(中華人民共和国の首都)」 ◇ not anymore 「もはやそうではない」
- ◇ apparently 「どうやら〔たぶん〕…らしい」 ◇ especially 「特に」
- ◇ for company 「連れ(合い)として」 ◇ point 「主張；論点」
- ◇ throw away ... 「…を捨てる」 ◇ millions of ... 「数百万の…」
- ◇ due to ... 「〈理由を表して〉…のために」 ◇ animal right 「動物の権利」
- ◇ capital city 「首都」 ◇ metro 「地下鉄」
- ◇ pet 「…をかわいがる」 ◇ feed 「…に餌を与える」
- ◇ present 「発表する」
- ◇ cheers 「さようなら」 英文メールの末尾に用いるカジュアルな表現。

【発表原案】

- ◇ current 「現在の」 ◇ statistics 「統計」
- ◇ example observation 「観察例」 ◇ roughly 「おおよそ；大体」

【設問・選択肢】

- ◇ A versus B 「A 対 B；A vs. B」
- ◇ win 「…を勝ち取る」
- ◇ vote 「票」 ◇ taste 「好み」
- ◇ dedicated to ... 「…に専念する；…にささげられた」
- ◇ overtake 「…を追い越す〔追い抜く〕」 ◇ spot 「…を見つける」
- ◇ homeless 「ホームレスの；飼い主のいない」
- ◇ allow 「…を許す」 ◇ gap 「空白」
- ◇ lack 「欠落；いなくなること」 ◇ relax 「〈規制など〉を緩和する」
- ◇ fashionable 「流行の；はやりの」

第5問

解答

- 問1 - ③ (3点)
 問2 - ④ - ① - ② - ③ (完答で3点)
 問3 - ① (3点)
 問4 - ③・⑤ (順不同・両方正解で3点)
 問5 - ④ (3点)

ポスタープレゼンテーションのための準備をする場面で、アメリカにおける工業デザインに変革を起こした人物に関する文章の読み取りを通じて、その概要を把握する力や情報を整理する力を問う。語数は約630語。

出典

David Cotton, David Falvey, Simon Ken: *Language Leader Intermediate CourseBook*
 問題作成のためのやむを得ない事情から、省略・改変した箇所があります。

全訳

あなたは宿題をしている。その宿題であなたは、クラスメートに自分が調べたことを発表するために、以下の雑誌記事からの情報を使って、アメリカに多大な影響を及ぼした男性に関するプレゼンテーションメモを作らなければならない。

レイモンド・ローウィは、「アメリカを形作った男」と呼ばれているが、あらゆる時代を通じて最も影響力のあるデザイナーの1人に違いない。彼はデザイン業界に革命を起こし、200社を超える企業のコンサルタントとして働き、包装紙から冷蔵庫、自動車から宇宙船の内装まで、あらゆるもののデザインを作り出した。彼は様々な産業にまたがりデザインの努力をすることの重要性で名声を獲得したのである。

レイモンド・ローウィは1893年にパリで生まれた。彼はまだ十代のころにデザインの素晴らしい才能を見せ始めた。彼がデザインした模型飛行機はとてもうまくできていたので、1908年に模型飛行機の有名な賞を勝ち取った。第一次世界大戦で彼はフランス軍に従軍していたのだが、戦後1919年にニューヨークへ移住した。彼はそこに到着するとすぐに、ファッションイラストレーターの仕事を見つけた。彼は1929年に、イギリスのメーカーのためにコピー機のデザインを変更することで、工業デザインの仕事を始めた。彼のデザインのおかげで、そのコピー機の売上げは大幅に増加した。これをきっかけに、人々は工業製品のデザインの重要性により多くの注意を払うようになった。さらなる注文が相次ぎ、その中には冷蔵庫のデザインもあった。工業デザイナーとしての彼の名声を確立したのはこの製品だった。1937年以降、彼は、ペンシルバニア鉄道やアメリカの自動車メーカーのスチュードバーカーなどのような、様々な企業との関係を築き上げた。

ローウィのデザインにはすべて、1つの共通点があった。それらは、デザインは非常に先進的であると同時に節度があるものでもなければならないという原則によって形作られていた。彼の考えは、人々は新奇なものに引きつけられるが未知のものは怖がる、ということだった。ローウィのデザインの外見上の特徴は流線型であった。流線型のものは、空中や水中を素早く、あるいは効率的に動くことを可能にする形をしている。1929年のコピー機は流線型を使った多くのデザインの始まりだった。彼は流線型を「機能と簡素化を通じての美」と評した。彼が流線型を発明して以降、それを使う傾向が何十年にもわたって工業デザインの様々な分野で強まっていった。流線型は、スピード、進歩、現代性の象徴とみなされた。彼はその後の50年間を、郵便切手や企業のロゴから店舗の内装まで、あらゆるものを流線型にすることに費やした。

ローウィはことによると、アメリカのタバコの銘柄であるラッキーストライクの包装デザインを改めたことで最も有名であるかもしれない。1940年に、彼はその箱の背景色を緑から白に変えた。それから彼は、箱の両側に赤色の大当たりの的を置いた。こうすることでそれはより人目を引くものになり、売上げは大幅に増加した。ローウィのロゴデザインは「視覚による記憶」を目指していた。彼は、短時間でもロゴを見た者は誰でも絶対にそれを忘れないようにしたかったのである。彼は有名企業のために非常に目立つロゴを数多くデザインした。

20世紀の半ばまでには、彼の工業デザイン会社はとて有名になっていた。ローウィは、彼の会社がデザインした「ものやサービスや建造物のうちのいくつかに、普通の生活を送っている平均的な人はきっと日常的に接しているはずだ」と述べる事ができた。晩年に、ローウィはNASAの仕事をした。彼は、有人宇宙船内の人々の心理状態、安全性、快適性を向上させた。ローウィは1980年に87歳で引退して母国のフランスへ戻り、1986年にそこで亡くなった。

プレゼンテーションメモ:

タイトル:

レイモンド・ローウィの生涯

☆ローウィは子ども時代をフランスで過ごした。

☆

☆

☆

☆

☆ローウィは母国へ戻った。

ローウィのデザインに関して

☆彼のすべてのデザインに共通する概念は「」だった。

☆彼のデザインにはいくつかの際立った特徴がある: ・

デザインの革命家であるローウィ

☆彼はデザイン業界に革命を起こした。

☆彼は多くの点でデザインにおいて偉業を成し遂げた:

設問解説

問1 正解③

「あなたの発表に最も適したタイトルはどれか」

- ① 広告におけるアメリカ人の巨匠
- ② 複雑で洒落たデザインが良質であることを示す
- ③ 産業の顔をデザインし直すこと
- ④ ファッションから宇宙への旅

リード文から本文は「アメリカに多大な影響を及ぼした男性」を扱った記事であることがわかるが、その「多大な影響」のまとめとして、第1段落(Called "the man...")に「レイモンド・ローウィは、『アメリカを形作った男』と呼ばれているが、あらゆる時代を通じて最も影響力のあるデザイナーの1人に違いない。彼はデザイン業界に革命を起こし、200社を超える企業のコンサルタントとして働き、包装紙から冷蔵庫、自動車から宇宙船の内装まで、あらゆるもののデザインを作り出した。彼は様々な産業にまたがりデザイン

の努力をすることの重要性で名声を獲得したのである」とある。

さらに、第3段落最終文(He spent the ...)では、ローウィのデザインの具体的特徴をまとめて、「彼はその後の50年間[流線型のデザインを発明した1929以降]の50年間を、郵便切手や企業のロゴから店舗の内装まで、あらゆるものを流線形にすることに費やした」と述べられている。

「デザイン業界に革命を起こしあらゆるもののデザインを作り出した」というのは、「あらゆる産業の顔とも言えるデザインを作り変えた」ということを意味しているので、正解は③となる。

①、②、④に関しては、本文には言及されていない内容なのでいずれも誤り。

問2 31 正解④ 32 正解① 33 正解② 34 正解③

「あなたはローウィの生涯における重要なできごとを一覧表にした。そのできごとを

31 ~ 34の空所に起きた順に入れよ」

- ① ローウィはファッションイラストレーターとして働き始めた。
- ② ローウィはコピー機のデザインを変更した。
- ③ ローウィは鉄道会社と自動車メーカーの仕事を引き受けた。
- ④ ローウィは自作の模型飛行機で賞を勝ち取った。

1900年代については、第2段落第3文(The model aircraft ...)の「彼がデザインした模型飛行機はとてもうまくできていたので、1908年に模型飛行機の有名な賞を勝ち取った」という記述から、④が入る。1910年代については、同段落第4文(After World War ...)と第5文(On arriving there, ...)の「(彼は)第一次世界大戦後1919年にニューヨークへ移住した。彼はそこに到着するとすぐに、ファッションイラストレーターの仕事を見つけた」という記述から、①が入る。それ以降については、同段落第6文(He started his ...)の「彼は1929年に、イギリスのメーカーのためにコピー機のデザインを変更することで、工業デザインの仕事を始めた」、同段落最終文(After 1937, he ...)の「1937年以降、彼は、ペンシルバニア鉄道やアメリカの自動車メーカーのステュードベーカーなどのような、様々な企業との関係を築き上げた」という記述から、②→③という順番になることがわかる。以上から、正解は順に④①②③となる。

問3 35 正解①

「以下のうちどれがローウィのデザインを最も適切に説明しているか」 35

- ① 先進的でありそのうえ許容できる
- ② 美しいだけでなく伝統的
- ③ スピードと快適さの結合
- ④ 最新の流行の追従

ポスターを見ると、空所には「彼のすべてのデザインに共通する概念」を説明するものが入ることがわかる。第3段落第1文(Loewy's designs all ...)、第2文(They were shaped ...)および第3文(His idea was ...)に、「ローウィのデザインにはすべて、1つの共通点があった。それらは、デザインは非常に先進的であると同時に節度があるものでもなければならないという原則によって形作られていた。彼の考えは、人々は新奇なものに引きつけられるが未知のものは怖がる、ということだった」とある。この内容に最も近いのは①なので、これが正解である。

②、③、④に該当する記述は本文中にはない。

問4 36・37 正解③・⑤

「以下の記述のうち、どの2つがポスターでの使用に最も適切か。(順不同とする)」

36・37

- ① 特定の色と文字の組み合わせが彼のデザインで使われていた。
- ② 円と直線のモチーフが彼のデザインで使われていた。
- ③ 人々は彼のデザインを一目見ただけで覚えていることができた。
- ④ 彼のデザインがあまりにも芸術的だったので人々はそれを理解できなかった。
- ⑤ 彼のデザインは簡素で機能的であるにもかかわらず美しかった。

ポスターを見ると、空所には「彼のデザインに見られるいくつかの際立った特徴」が入ることがわかる。第4段落第4文(This made it ...)、第5文(Loewy's logo designs ...)および第6文(He wanted to ...)の「こうすること(=タバコの包装デザインを変更したこと)でそれはより人目を引くものになり、売上げは大幅に増加した。ローウィのロゴデザインは『視覚による記憶』を目指していた。彼は、短時間でもロゴを見た者は誰でも絶対にそれを忘れないようにしたかったのである」という記述から、タバコの売上げが大きく増えたのは、ローウィの意図した通り、人々が変更された包装デザインを短時間でも目にしただけで覚えていた結果であると考えられるので、③は正しい。また、第3段落第6文(The copying machine ...)と第7文(He described streamlining ...)の「1929年のコピー機は流線型を使った多くのデザインの始まりだった。彼は流線型を『機能と簡素化を通じての美』と評した」という記述から、⑤も正しい。①、②、④に該当する記述は本文中にない。

問4 38 正解④

「以下のできごとのどの組み合わせがポスターでの使用に最も適切か」 38

- A: ローウィは先進的で現代的な工業デザインを作り出した。
- B: ローウィは1930年代以降のデザインの潮流を確立した。
- C: ローウィは、たとえデザインが複雑でも売り上げは増えることを知った。
- D: ローウィはNASAの依頼で宇宙船のエンジン設計を改善した。
- E: ローウィは工業デザインの重要性を人々に認識させた。
- F: ローウィはデザインを定期的に変更することの有効性を証明した。

ポスターを見ると、空所には「ローウィがデザインにおいて成し遂げた偉業」が入ることがわかる。第1段落第2文(He revolutionized the ...)の「彼はデザイン業界に革命を起こした」、第3段落第2文(They were shaped ...)の「デザインは非常に先進的である(…)という原則」、および同段落第9文(It was seen ...)の「(ローウィが発明した)流線型は、スピード、進歩、現代性の象徴とみなされた」という記述から、Aは正しい。また、第3段落第8文(After his invention ...)の「彼が流線型を発明(=1929年)して以降、それを使う傾向が何十年にもわたって工業デザインの様々な分野で強まっていった」という記述から、Bも正しい。さらに、第2段落第7文(Thanks to his ...)および第8文(This led to ...)の「彼のデザインのおかげで、そのコピー機の売上げは大幅に増加した。これをきっかけに、人々は工業製品のデザインの重要性により多くの注意を払うようになった」という記述から、Eも正しい。CやFのような内容は本文では述べられていない。また、第1段落第2文(He revolutionized the ...)に「彼は(…)自動車から宇宙船の内装まで、あらゆるもののデザインを作り出した」という記述があり、最終段落第3文(He improved the ...)にも「彼は、有人宇宙船内の人々の心理状態、安全性、快適性を向上させた」という記述はあるが、「宇宙船のエンジン設計を改善した」とは述べられていないので、Dも誤りである。以上から、正解は④となる。

主な語句・表現

[リード文]

・問題冊子を参照のこと。

◇ require O to - 「Oに-するよう要求する」

◇ below 「以下の」

◇ present 「…を発表する」

- [第1段落]
- ◇ influential 「影響力のある」
 - ◇ revolutionize 「…に革命を起こす」
 - ◇ consultant 「コンサルタント；顧問」
 - ◇ refrigerator 「冷蔵庫」
 - ◇ spacecraft 「宇宙船」
 - ◇ fame 「名声」
 - ◇ a variety of ... 「様々な…」
 - ◇ of all time 「あらゆる時代を通じて」
 - ◇ industry 「産業；…業界」
 - ◇ packaging 「包装材料」
 - ◇ interior 「内装」
 - ◇ achieve 「…を獲得する」
 - ◇ effort 「努力」
- [第2段落]
- ◇ exhibit 「〈才能など〉を示す [見せる]」
 - ◇ award 「賞」
 - ◇ on -ing 「-すると (すぐに)」
 - ◇ re-design 「…をデザインし直す」
 - ◇ manufacturer 「製造業者；メーカー」
 - ◇ lead to ... 「…という結果になる；…を引き起こす」
 - ◇ pay attention to ... 「…に注意を払う」
 - ◇ commission 「注文；依頼」
 - ◇ including ... 「…を含めて」
 - ◇ It was this product that established ... 「…を確立したのはこの製品だった」 強調構文。
 - ◇ establish 「…を確立する」
 - ◇ ..., and so on 「…など」
 - ◇ aircraft 「飛行機」
 - ◇ serve 「軍務に就く；従軍する」
 - ◇ career 「仕事；キャリア」
 - ◇ copying machine 「コピー機」
 - ◇ thanks to ... 「…のおかげで」
 - ◇ further 「さらなる」
 - ◇ follow 「続いて起こる」
 - ◇ reputation 「名声」
- [第3段落]
- ◇ in common 「共通して」
 - ◇ progressive 「先進的な」
 - ◇ attract 「…を引きつける」
 - ◇ external 「外部の」
 - ◇ streamlining 「流線型」 streamline は「…を流線型にする」という動詞。
 - ◇ object 「物体」
 - ◇ allow O to - 「O が-するのを許す [可能にする]」
 - ◇ efficiently 「効率的に」
 - ◇ describe ... (as ~) 「…を (〜だと) 評する；…を説明する」
 - ◇ function 「機能」
 - ◇ trend 「傾向；流行」
 - ◇ see ... as ~ 「…を〜だとみなす」
 - ◇ modernity 「現代性」
 - ◇ spend 〈時間〉 -ing 「〈時間〉を-することに費やす」
 - ◇ postage stamp 「郵便切手」
 - ◇ logo 「〈商標・社名などの〉ロゴ；シンボルマーク」
 - ◇ principle 「原則」
 - ◇ moderate 「節度がある；極端に走らない」
 - ◇ novel 「新奇な；真新しい」
 - ◇ feature 「特徴」
 - ◇ simplification 「簡素化」
 - ◇ decade 「10年」
 - ◇ progress 「進歩；発展」
- [第4段落]
- ◇ brand 「銘柄；ブランド」
 - ◇ packet 「(小) 箱」
 - ◇ target 「(標) 的」
 - ◇ aim at ... 「…を目指す [狙う]」
 - ◇ retention 「記憶 (力)」
 - ◇ highly 「非常に」
 - ◇ background 「背景」
 - ◇ lucky strike 「大当たり」
 - ◇ eye-catching 「人目を引く」
 - ◇ visual 「視覚による」
 - ◇ make sure that ... 「確実に…する」
 - ◇ visible 「目立つ」
- [最終段落]
- ◇ firm 「会社」
 - ◇ be bound to - 「必ず-する；きっと-するはずだ」
 - ◇ lead a ... life 「…な生活を送る」

- ◇ be in daily contact with ... 「…に日常的に接している」
- ◇ structure 「建造物；構造」
- ◇ improve 「…を改善する」
- ◇ comfort 「快適性」
- ◇ manned 「〈宇宙船などが〉人間を乗せた；有人の」
- ◇ retire 「引退する」
- ◇ late in life 「晩年に」
- ◇ psychology 「心理状態；心理学」
- ◇ native 「母国の；出生地の」

[ポスター]

- ◇ concept 「概念」
- ◇ characteristic 「特徴」
- ◇ achievement 「業績」
- ◇ distinctive 「際立った」
- ◇ revolutionist 「革命家」
- ◇ in a number of ways 「多くの点で」

[設問・選択肢]

- ◇ presentation 「発表」
- ◇ complex 「複雑」
- ◇ quality 「上質；良質」
- ◇ order 「順序」
- ◇ following 「以下の」
- ◇ acceptable 「許容できる」
- ◇ combine 「…を結合する」
- ◇ description 「記述；説明」
- ◇ specific 「特定の」
- ◇ motif 「モチーフ；主題」
- ◇ despite 「…にもかかわらず」
- ◇ combination 「組み合わせ」
- ◇ find out 「…を知る；…とわかる」
- ◇ aware of ... 「…を認識した；…に気づいた」
- ◇ prove 「…を証明する」
- ◇ regularly 「定期的に；規則正しく」
- ◇ master 「巨匠」
- ◇ cool 「かっこよい；洒落た」
- ◇ list 「…を一覧表にする」
- ◇ take on ... 「…を引き受ける」
- ◇ advanced 「先進的な」
- ◇ traditional 「伝統的な」
- ◇ latest 「最新の」
- ◇ appropriate 「適切な」
- ◇ letter 「文字」
- ◇ glance 「一目見ること」
- ◇ functional 「機能的な」
- ◇ onward 「…以降」
- ◇ complicated 「複雑な」
- ◇ effectiveness 「有効性」

第6問

解答

- A 問1 - ③ 問2 - ④ 問3 - ① 問4 - ① (各3点)
 B 問1 - ② 問2 - ③ (各3点)
 問3 - ①・⑤ (順不同・両方正解で3点)
 問4 - ② (3点)

A 授業で行う発表のための準備をする場面で、読書活動に関する記事の読み取りを通じて、記事の概要および論理展開を把握する力や内容を要約する力を問う。語数は約570語。

出典

What makes reading a social justice issue? (America THE JESUIT REVIEW)
 問題作成のためのやむを得ない事情から、省略・改変した箇所があります。

全訳

あなたは授業で行う、読書が及ぼす影響に関するクラスの研究課題に取り組んでいる。あなたは以下の記事を見つけた。あなたは、クラスメートに自分が調べたことを発表するために、その記事を読んでポスターを作っているところだ。

なぜ読書が社会正義の問題になるのか

ニューヨーク・タイムズ紙で報告された最近の研究では、読書をする人が読書をしない人よりも平均して2年近く長生きをすることが突き止められた。実際、読書をする人の人生は、より長いだけでなく、より深いものである可能性が高い。読書は他者の気持ちを理解する能力を育み、より多くの喜びや愛情を得る能力を築くの助けになるのだ。

現在のアメリカ人の読書活動は、少々評価が難しい。10年以上前だが、『危機的状況にある読書』(2004)と呼ばれる報告書は、文学を読むアメリカの成人の割合が劇的に落ち込んだと結論づけた。しかし2005年のある調査では、全く反対の結果になった。全アメリカ人のほぼ半数がその調査の時期に本を読んでいたが、これは1990年の割合よりも増えていて、1957年の割合の2倍以上であった。より最近には、2015年の調査報告で、16歳から29歳までの年齢のアメリカ人の80パーセントが過去1年の間に本を読んでいることがわかり、その年齢層にいる人は30歳より上の年齢の人々よりも本を読む人になる可能性が高いとまで示されたのだった。

しかし、そうしたデータのいくつかは励みになるかもしれないが、明らかに心配の種となるものもまた存在する。利用可能な最も近年のものである2012年と2014年に集められた読み書き能力調査のデータでは、16歳から65歳までの年齢のアメリカ人の17パーセントが、測定された読解力の4つのレベルのうち、最も低いレベルかそれ以下のレベルで読んでいると示されている。さらに、読解力が欠けている人の割合は、失業者の間の方が高かった。

社会経済的地位と読解力の関係がどのようなものであったとしても、その関係性は複雑だ。学校制度において資源が不均等に分配されていることと、十分に財政的支援が投入されていないことは、確実にその一因であるだろう。裕福な家庭の方が、親が自身の望み通りに子どもと読書ができる時間を多くとることができ、そうした融通が利くという事実もまたそうだ。貧困と読み書き能力をつなぐものが厳密には何であるのかに関わらず、こうした統計上のデータは、読書がぜいたく品として扱われてはならず、社会的な対応を要する根本的に人間が必要とするものとして扱わなければならないということ

を思い出させてくれるのに役立っているのだ。

学校での読書活動もまた強化されるべきであり、それは、生徒の読解力を高めるためだけでなく、本が読者に与える様々な世界や洞察へと彼らを導くためでもある。昔からある名著も、より広範な種類の著者によるより近年の作品も、どちらも生徒の視野を広げ、他者の人生に対する好奇心を促進するのを助けるためには重要だ。最近、3つの異なる公立高校の英語の授業を1年にわたって観察したある著者が気づいたのは、3つすべての高校の教師が、生徒に対して、ヘミングウェイのような古典だけでなくアリス・ウォーカーやエイミ・タンのような近年の著者も読む気にさせようと決意していることであった。

その生徒たちは創造的な課題や教室内での真剣な討論に熱意を持って取り組むようになった。私たちが持つ最も古い科学技術の1つである本が、最も現代的なソーシャルメディアネットワークが提供しうるよりも深く、彼らを異なる経験や文化や考えへとつなげるのを助けてくれたのだ。

読解力は現代の経済活動にいかなる形で参加するのにも必要なものだ。しかしさらに重要なことに、読書、特に小説を読むことは、読者を感化し、他者の感情に対してより興味を持たせて、読者が精神性や政治的責任を育むのを助けてくれる。読書が大好きだという気持ちを促進することは、経済面での生活の質を向上させる可能性が高いだけでなく、社会で共有される人生を深め、豊かなものにしてくれる可能性も高いのである。

なぜ誰もが読書をするべきなのか

読書は危機的状況にあるのか？ 誰が文学を読んでいるのか？

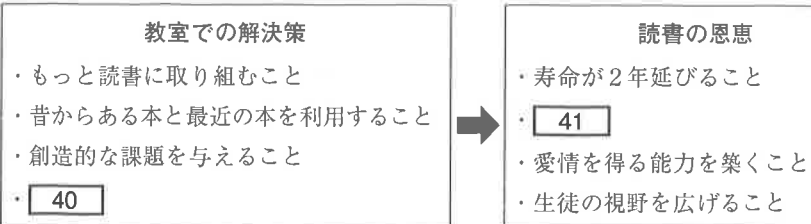
- ・1957—成人の約4分の1
- ・2005—成人の約2分の1
- ・2015—成人の約80%

⇒ 今日ではさらに多くの人々が読書をしている

主な問題：16歳～65歳のアメリカ人の17%が基本的な読解力を欠いている

なぜ一部の人は読解力を欠いている可能性が高いのか？

誰が	考えられる理由
・失業者	・自分が通っていた学校に資源が不足していたこと ・ 39 ・彼らに本を読んでやる時間が親になかった ・彼らに本を読んでやる欲求/能力が親になかった



設問解説

要約

読書は我々の社会にとって重要である。

それは 42 ばかりでなく、我々をより思いやりのある人間にもする。

問1 39 正解③

「ポスターの 39 に最も適する選択肢を選べ」

- ① 読書を重要であるとみなさない
- ② 長期にわたって学校を欠席すること
- ③ 教育に十分なお金が投入されていないこと
- ④ 書物にかかる費用が高額であること

ポスターの 39 には、失業者が読解力を欠いていると考えられる理由の1つが入る。

第3段落最終文 (Furthermore, the share ...) から第4段落第2文 (Unequal distribution of ...) 前半にかけて「さらに、読解力が欠けている人の割合は、失業者の間の方が高かった。社会経済的地位と読解力の関係がどのようなものであったとしても、その関係性は複雑だ。学校制度において資源が不均等に分配されていることと、十分に財政的支援が投入されていないことは、確実にその一因であるだろう」と述べられている。したがって、社会経済的地位の低い失業者が読解力を欠いている理由としてここでは「学校制度において資源が不均等に分配されていること」(これが 39 の上の理由に当たる)と「学校制度において十分に財政的支援が投入されていないこと」が挙げられていることがわかるので、正解は③となる。

①, ②, ④ に関しては、本文には言及されていない内容なのでいずれも誤り。

問2 40 正解④

「ポスターの 40 に最も適する選択肢を選べ」

- ① 他の文化との関係を説明すること
- ② ソーシャルネットワーキングサイトを組み込むこと
- ③ 教師の経験を共有すること
- ④ 授業での真剣な討論を始めること

ポスターの 40 には、読解力を欠いていることに対する教室で行う解決策の1つが入る。

第5段落 (Commitment to reading ...) では、生徒の読解力を高めるためだけでなく、本が読者に与える様々な世界や洞察へと生徒を導くためにも、学校での読書活動を強化するべきであり、実際3つの公立高校の英語の授業では、教師が古典だけでなく、近年の著者も読むよう生徒たちを促している、と説明されている。その内容を受けて、第6段落第1文 (These students became ...) では「その生徒たちは創造的な課題や教室内での真剣な討論に熱意を持って取り組むようになった」と述べられ、「読書活動の強化」と「創造的な課題や教室内での真剣な討論への取り組み」の間には相補的関係があることが読み取れる。よって正解は④となる。「創造的な課題への取り組み」が 40 の上の解決策に当たる。

①, ②, ③ に関しては、本文には言及されていない内容なのでいずれも誤り。

問3 41 正解①

「ポスターの 41 に最も適する選択肢を選べ」

- ① 感情の理解
- ② 経験を表現したいという欲求
- ③ 生徒のマナーの向上
- ④ もっと上手に文章を書きたいという意欲

ポスターの 41 には、読書がもたらす恩恵の1つが入る。

第1段落最終文 (Reading can help ...) で「読書は他者の気持ちを理解する能力を育み、より多くの喜びや愛情を得る能力を築くことを助けうのだ」と述べられていることから、読書がもたらす恩恵の1つが「他者の気持ちを理解する能力」であるとわかる。よって正解は①となる。「他者の気持ち」に関しては、最終段落第2文 (But even more ...) においても「読書、特に小説を読むことは、読者を感化し、他者の感情に対してより興味を持たせて、読者が精神性や政治的責任を育むのを助けてくれる」という言及があるが、この箇所も「読書が他者の気持ちを理解する能力」を育むことを示唆していると言えるだろう。

②, ③, ④ に関しては、本文には言及されていない内容なのでいずれも誤り。

問4 42 正解①

「ポスターの 42 に最も適する選択肢を選べ」

- ① 経済を促進する
- ② テクノロジーを発展させる
- ③ 税金を納めるよう我々を促す
- ④ 犯罪発生率を下げる

ポスターの 42 には、要約文の一部が入る。

筆者は最終段落 (Reading skills are ...) でタイトルの「なぜ読書が社会正義の問題になるのか」という問いかけの答えとなる自身の主張をまとめているが、その最終文 (Encouraging a love ...) では「読書が大好きだという気持ちを促進することは、経済面で生活の質を向上させる可能性が高いだけでなく、社会で共有される人生を深め、豊かなものにしてくれる可能性も高いのである」と述べている。これは、読書が個人のものとしての「経済を促進する」ばかりでなく、第2文 (But even more ...) で述べられているように他者の感情に対してより興味を持たせて、「思いやりのある人間にする」ことで、他者と共有する人生を深め、豊かなものにしてくれる可能性も高い、ということの意味している。よって正解は①となる。

②, ③, ④ に関しては、本文には言及されていない内容なのでいずれも誤り。

主な語句・表現

[リード文]

・問題冊子を参照のこと。

◇ work on ... 「…に取り組む」

◇ project 「研究課題」

◇ article 「記事；論文」

◇ below 「以下の」

[タイトル]

◇ social 「社会の」

◇ justice 「正義；公正」

◇ issue 「問題」

[第1段落]

◇ determine 「…を突き止める」

◇ average 「平均」

◇ indeed 「実際 (に)」

◇ help - 「-するのを助ける」

◇ capacity 「能力」

[第2段落]

◇ current 「現在の」

◇ engagement 「取り組み；活動」

◇ somewhat 「やや；少し」

◇ evaluate 「…を評価する；…を測定する」

◇ decade 「10年間」

◇ risk 「危険；リスク」

◇ conclude that ... 「…と結論づける」

◇ literature 「文学」

◇ dramatically 「劇的に」

◇ survey 「調査」

◇ the exact opposite 「正反対」

◇ more than double ... 「…の2倍以上で」

◇ range 「範囲」

◇ those over 30 「30歳より上の年齢の人々」

- [第3段落] ◇ As encouraging as some of that data may be 「そうしたデータのいくつかは励みになるかもしれないが」 (as +) 〈形容詞・副詞〉 + as + S be 「Sは〈形容詞・副詞〉だけでも」 (譲歩)。encouraging は「励みになる」という意味の形容詞。
- ◇ concern 「心配」 ◇ literacy 「読み書き能力」
 ◇ available 「入手 [利用] 可能な」 ◇ furthermore 「さらに」
 ◇ share 「割合；割り当て；…を共有する」
 ◇ those lacking reading skills 「読解力が欠けている人々」 lack は「…を欠いている」という意味の動詞。
 ◇ population 「人々；人口」 ◇ unemployed 「失業した；求職中の」

- [第4段落] ◇ relationship 「関係」 ◇ socioeconomic 「社会経済的な」
 ◇ status 「地位；身分」 ◇ complicated 「複雑な」
 ◇ unequal 「不平等な」 ◇ distribution 「分配」
 ◇ resource 「資源」 ◇ insufficient 「不十分な」
 ◇ funding 「財政的支援」 ◇ contribute 「一因となる」
 ◇ as does the fact that ... 「…という事実と同じように」
 ◇ better-off 「より裕福な」 well-off 「裕福な」の比較級。
 ◇ flexibility 「柔軟さ；融通がきくこと」 ◇ act on ... 「…に基づいて行動する」
 ◇ regardless of ... 「…に関係なく；…に関わらず」
 ◇ link 「…をつなぐ」 ◇ poverty 「貧困」
 ◇ statistics 「統計；統計上の数字 [データ]」 ◇ serve as ... 「…として役立つ」
 ◇ reminder 「思い出させるもの」 ◇ treat 「…を扱う」
 ◇ luxury 「ぜいたく品」 ◇ call for ... 「…を要求する」
 ◇ response 「反応；対応」

- [第5段落] ◇ commitment to ... 「…への関わり；…への参加」
 ◇ strengthen 「…を強める」 ◇ introduce 「…を導く；…を導入する」
 ◇ insight 「洞察」 ◇ traditional 「伝統的な；古くからある」
 ◇ variety 「種類」
 ◇ broaden one's horizons 「〈人〉の視野を広げる」
 ◇ encourage 「…を促進する」 ◇ curiosity 「好奇心」
 ◇ monitor 「…を観察する」 ◇ motivate O to - 「Oを-する気にさせる」
 ◇ classic 「古典」 ここでは古典的な文学作品のこと。

- [第6段落] ◇ passionately 「熱心に」 ◇ involved 「参加した；取り組んだ」
 ◇ creative 「創造的な」 ◇ assignment 「課題」
 ◇ earnest 「真剣な」 ◇ connect 「…をつなぐ」
 ◇ depth 「深さ」

- [第7段落] ◇ participation 「参加」
 ◇ even more important 「さらに重要なことには」 副詞句として働いている。even は「さらに；いっそう」という意味で、比較級を強調している。
 ◇ especially 「特に」 ◇ fiction 「小説；フィクション」
 ◇ inspire 「…を鼓舞する；…を感化する」 ◇ spirituality 「精神性」
 ◇ political 「政治的な」 ◇ responsibility 「責任」
 ◇ improve 「…を向上させる；…を改善する」
 ◇ deepen 「…を深める」 ◇ enrich 「…を豊かにする」

- [ポスター] ◇ solution 「解決策」 ◇ benefit 「利益；恩恵」
 ◇ caring 「思いやりのある」
 ◇ A as well as B 「Bばかりでなく A；Aばかりでなく Bも」
- [設問・選択肢] ◇ see A as B 「AをBとみなす [考える]」 ◇ link to ... 「…との関係」
 ◇ incorporate 「…を組み込む」 ◇ comprehension 「理解」
 ◇ boost 「…を高める；…を促進する」 ◇ encourage O to - 「-するようOを促す」
 ◇ crime rate 「犯罪 (発生) 率」

B 複数の人間集団の睡眠パターンに関する記事の読み取りを通じて、記事の概要や要点を把握する力、情報を整理する力、内容を要約する力を問う。語数は約490語。

出典

Lillian Steenblik Hwang: *Analyze This: Sleep patterns vary widely across the world*
 問題作成のためのやむを得ない事情から、省略・変更した箇所があります。

全訳

あなたは十分な睡眠をとることの重要性に関心を持っていて、異なる人間集団の睡眠パターンに関する以下の記事を読もうとしている。

睡眠は重要である。実際、最近のデータが示しているのは、一貫した睡眠スケジュールを維持することが、適切な量の質の良い睡眠をとることとまさに同じくらい重要であるかもしれないということだ。他の霊長類の動物と比べると、人間の進化には、より短い時間でより深い睡眠をとることへ移行するという特徴が生じ、それにより、文化が発展していくにつれ、新たな技術や知識を身につけるための時間がより多く得られた。人間はまた、日々の仕事のスケジュールや環境的要因に基づいて、睡眠のスケジュールを修正する能力も進化させたのである。

興味深いことに、世界中のあらゆる人が同じタイプの睡眠スケジュールに従っているわけではない。最近の研究で、科学者たちは4つの人間集団の睡眠パターンに注目した。ハツァ族は、東アフリカの国であるタンザニアに住む狩猟採集民族である。マラガシー族は、アフリカ南東部の沿岸沖に浮かぶ巨大な島国であるマダガスカルに暮らしている。どちらの集団も電気のない生活をしている。これらの人々が、西洋 (アメリカ合衆国やヨーロッパのような場所) で暮らす人々と比較され、さらには、今からおよそ200～500年前、産業革命以前に暮らしていた西欧の人々とも比較された。

世間一般の通念に反して、電気のない社会に住む人々は、工業社会に住む人々より必ずしもたくさん睡眠をとっているわけではない。これは、1つには、この研究におけるマラガシー族やハツァ族を含めた、非西洋諸国の狩猟採集民族や村人たちは、日中のうちで自然の太陽光を浴びて過ごしている時間がより長いからかもしれない。また、1日に1回か2回昼寝をすることも彼らに何らかの影響を及ぼしているのかもしれない。狩猟採集民族や村人たちはたいていの場合、家族や集団の様々なメンバーと一緒に空間で睡眠をとっており、西洋の人々について報告されている状況に比べ、夜の間に目を覚ます頻度が高いのである。

昼寝を別にすれば、マラガシー族の村人たちの睡眠パターンは、産業革命以前の西欧の人々と非常によく似ている。どちらの事例においても、大人たちは午後6時よりも少し後に眠りについていて、それから彼らは2回に分けて睡眠をとっていた。最初の睡眠は午前0時近くに終わり、その後、1時間かそこら目を覚ましたまま過ごしたあと、再び眠りに落ちていた。それに対して、アメリカ合衆国で9時から5時まで仕事をしている成人のような現代の西洋人は、概して、午前0時の少し前に眠りにつき、朝6時頃に

起床している。そして、彼らのうちの大多数はまったく昼寝をしていないのである。

これらの集団のそれぞれにおける異なった睡眠パターンは、人間の睡眠の柔軟性を強調し、また、現代の西洋人の睡眠のあり方における健康面での潜在的な危険性を示している。狩猟採集民族と村人たちは、屋内の照明やコンピュータ画面からのブルーライトにさらされる量がより少ないが、ブルーライトは、体内時計を混乱させる可能性がある。スマートフォンや他のデジタル機器から放出される青い波長の光は、人が眠りに落ちるのを促すホルモンであるメラトニンの生成を抑制し、睡眠を遅らせる可能性があるのだ。現代社会に生きる人々は、この研究から教訓を得ることができるだろう。すなわち、質の良い睡眠を取るためには、日中はもっとたくさん日光を浴びるようにし、暗くなった後は青い波長の光にさらされるのを減らすべきなのである。

設問解説

問1 43 正解②

「人間はより短い時間でより深い睡眠をとるように進化したが、それによって、43」

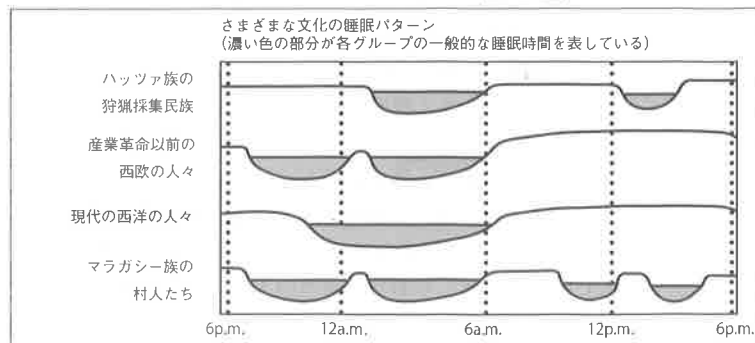
- ① 人間は独力で睡眠スケジュールを修正することができるようになった
- ② 人間はより知能が高く、より有能になることが可能になった
- ③ 日中に昼寝をする機会がよりたくさん与えられた
- ④ 狩猟や採集をするための時間がはるかに多く与えられた

人間がより短い時間でより深い睡眠をとるように進化したことは、第1段落第3文(Compared with other ...)に述べられており、その文の後半に「…それにより、文化が発展していくにつれ、新たな技術や知識を身につけるための時間がより多く得られた」という記述がある。よって、新たな技術や知識を身につけた状態を more competent、新たな知識を身につけた状態を more intelligent と言い換えている②が正解となる。

①の「睡眠スケジュールの修正をする能力」については、第1段落最終文(Humans also evolved ...)に述べられているが、これは「より短い時間でより深い睡眠をとることへの進化」とは別の人間の進化として挙げられたものであり、両者に因果関係はない。③、④についても、「より短い時間でより深い睡眠をとることへの進化」との直接の結びつきは本文中では述べられていない。

問2 44 正解③

「4つの図表のうち、どれが記事に一致しているか」 44



図表は4つの人間集団の睡眠パターンを表したもののだが、これに関する記述は第2～4段落にある。選択肢の4つの図表において、それぞれ左側に示されている4つの人間集団を整理しておくと、Hadza hunter-gatherersは「タンザニアに住む狩猟採集民族であるハツツァ族」、Preindustrial Western Europeansは「今からおよそ200～500年前、産業革命以前に暮らしていた西欧の人々」、Present-day Westernersは「現代の西洋諸国に暮らす人々」、Malagasy villagersは「マダガスカルに暮らすマラガシー族」である。そ

れぞれの集団の睡眠パターンに関して判断材料となる記述は以下の3点である。

- (1) 第3段落第3文(Napping once or ...)に「1日に1回か2回昼寝をすること」がマラガシー族とハツツァ族の特徴として挙げられている。よって、図表の右側の日中(6 a.m. から6 p.m.の範囲)に睡眠が見られる2つが、マラガシー族とハツツァ族になる。
- (2) 第4段落第1文(Except for the ...)に「昼寝を別にすれば、マラガシー族の村人たちの睡眠パターンは、産業革命以前の西欧の人々と非常によく似ている」、第2文(In both cases, ...)と第3文(Then they slept ...)に「どちらの事例においても、大人たちは午後6時よりも少し後に眠りについていた。それから彼らは2回に分けて睡眠をとっていた」と述べられている。よって、図表の左側の夜間(6 p.m. から6 a.m.の範囲)の睡眠が2回に分かれているもののうち、昼寝を示す時間帯が含まれているものがマラガシー族、昼寝が見られないものが産業革命以前の西欧の人々とわかる。
- (3) 第4段落第6文(By comparison, present-day ...)と最終文(And no mid-day ...)に「現代の西洋人は、概して、午前0時の少し前に眠りにつき、朝6時頃に起床し、彼らのうちの大多数はまったく昼寝をしていない」と述べられている。すなわち、夜間の睡眠が1回で、昼寝が見られないものが現代の西洋人となる。よって、以上の(1)、(2)、(3)をすべて満たしている③が正解となる。

問3 45・46 正解①・⑤

「記事によれば、以下の記述のうち、どの2つが正しいか。(順不同とする)」 45・46

- ① 青い波長の光が、人間に対して健康面での危険をもたらし可能性がある。
- ② 狩猟採集民族は、自然の太陽光にもっとさらされるべきである。
- ③ ある種のブルーライトは、睡眠ホルモンの生成を促進する可能性がある。
- ④ 今日の西洋の人々は、定期的に昼寝をするべきである。
- ⑤ 今日の西洋の人々の体内時計は、非常に狂いやすい。

最終段落第1文(Different sleep patterns ...)に「異なった睡眠パターンが、現代の西洋人の睡眠のあり方における健康面での潜在的な危険性を示している」という記述があり、この危険性について述べているのが、最終段落第2文(Hunter-gatherers and villagers ...)の「ブルーライトは、体内時計を混乱させる可能性がある」という部分である。さらに、ブルーライトが及ぼす影響は、続く第3文(Blue-wave light emitted ...)で「スマートフォンや他のデジタル機器から放出される青い波長の光は、人が眠りに落ちるのを促すホルモンであるメラトニンの生成を抑制し、睡眠を遅らせる可能性がある」と説明されている。以上のことから、「ブルーライトによって、睡眠障害という健康被害をもたらされる可能性がある」(①に合致)と言え、「スマートフォンやデジタル機器に触れる時間が長い現代の西洋人の体内時計は、ブルーライトによって狂わされやすい」(⑤に合致)と言える。

最終段落最終文(People in modern ...)で述べられているように、もっと自然の太陽光を浴びるべきなのは狩猟採集民族ではなく現代社会に生きる人々なので、②は本文の内容に合わない。③は、「ブルーライトは、睡眠ホルモンの生成を促進する」という点が誤りである(最終段落第3文に「青い波長の光は、人が眠りに落ちるのを促すホルモンであるメラトニンの生成を抑制する」とある)。④のような記述は本文にはない。

問4 47 正解②

「この記事に最適なタイトルは、47である」

- ① 人間の睡眠量の進化
- ② 人間の柔軟な睡眠パターン
- ③ 現代における睡眠障害
- ④ 電気なしでの睡眠習慣

この記事は、4つの人間集団の異なる睡眠パターンを調べた研究結果を基盤にして、そのような睡眠スケジュールの違いが意味することや、その重要性について考察したものである。第1段落最終文(Humans also evolved ...)では、人間は「日々の仕事のスケジュールや環境的要因に基づいて、睡眠のスケジュールを修正する能力も進化させた」と述べられており、第2～4段落では、様々な人間集団の睡眠スケジュールが具体的に詳述されている。さらに最終段落第1文(Different sleep patterns ...)には、「これらの集団のそれぞれにおける異なった睡眠パターンは、人間の睡眠の柔軟性を強調し」とあり、同段落最終文(People in modern ...)に記された、健康的な睡眠習慣をもたらすための現代人への助言で文章全体が締めくくられている。以上のように、記事全体を通して「人間の睡眠の柔軟性」への言及がなされていることから、②が正解になる。

①については第1段落で、③については最終段落で、④については第3段落と第4段落でそれぞれ言及がなされているが、いずれも記事全体から見ると部分的な記述にとどまっており、記事のタイトルとしては適切ではない。

主な語句・表現

[リード文]

- ◇ be interested in ... 「…に関心 [興味] を抱いている」
- ◇ adequate 「十分な；適当な」
- ◇ article 「記事；論文」
- ◇ following 「以下の；次の」

[第1段落]

- ◇ in fact 「実際に」
- ◇ suggest 「…を示唆する」
- ◇ schedule 「スケジュール」
- ◇ compared with ... 「…と比べると」
- ◇ evolution 「進化」 > evolve 「進化する」
- ◇ shift 「変化；移行；交替」
- ◇ expand 「発展する；拡大する」
- ◇ based on ... 「…に基づいて」
- ◇ factor 「要因；要素」
- ◇ recent 「最近の」
- ◇ consistent 「首尾一貫した；変わらない」
- ◇ quality sleep 「質のよい睡眠」
- ◇ primate 「霊長類の動物」
- ◇ feature 「…を呼び物 [特徴] にする」
- ◇ provide 「…を提供する」
- ◇ revise 「…を見直す [修正する]」
- ◇ environmental 「環境の」

[第2段落]

- ◇ interestingly 「興味深いことに」
- ◇ hunter-gatherer 「狩猟採集民」
- ◇ be compared to ... 「…と比較される」
- ◇ keep to ... 「…に従う」
- ◇ electricity 「電気」
- ◇ the Industrial Revolution 「産業革命」

[第3段落]

- ◇ contrary to ... 「…に反して；…とは違って」
- ◇ conventional 「従来の；世間一般の」
- ◇ industrial society 「工業社会」
- ◇ including ... 「…を含めた」
- ◇ effect 「影響；効果」
- ◇ frequently 「頻繁に」
- ◇ wisdom 「一般的な考え；通念；知恵」
- ◇ in part 「部分的に；1つには」
- ◇ nap 「昼寝をする；昼寝」
- ◇ various 「様々な」
- ◇ Westerner 「西洋の人々」

[第4段落]

- ◇ except for ... 「…を除けば；…を別にすれば」
- ◇ be similar to ... 「…に似ている」
- ◇ midnight 「午前0時；夜の12時」
- ◇ remain up 「目が覚めたままである；起きたままである」
- ◇ ... or so 「…かそこら」
- ◇ fall back to ... 「(元の状態など)に戻る [帰る]」
- ◇ by comparison 「それに対して；対照的に」
- ◇ preindustrial 「産業化以前の」

- ◇ present-day 「現代の；今日の」
- ◇ mid-day 「真昼の」
- ◇ typically 「典型的に；概して」
- ◇ majority 「大多数；大部分」
- ◇ highlight 「…を強調する」
- ◇ point to ... 「…を示す [表す]」
- ◇ be exposed to ... 「…にさらされる」
- ◇ confuse 「…を混乱させる」
- ◇ emit 「…を発する [出す]」
- ◇ suppress 「…を抑える」
- ◇ melatonin 「メラトニン」 ホルモン的一种。
- ◇ hormone 「ホルモン」
- ◇ delay 「…を遅らせる」
- ◇ that is 「つまり；すなわち」
- ◇ flexibility 「柔軟性；適応性」
- ◇ potential 「潜在的な；可能性を秘めた」
- ◇ indoor lighting 「屋内(の)照明」
- ◇ internal 「体内の；内部の」
- ◇ device 「機器；装置」
- ◇ production 「生成；生産」
- ◇ fall asleep 「寝入る；眠りに落ちる」
- ◇ research 「研究；探究」
- ◇ exposure 「さらされること」

[設問・選択肢]

- ◇ allow O to - 「Oが-するのを許す」
- ◇ enable O to - 「Oが-するのを可能にする」
- ◇ intelligent 「知能が高い；聡明な」
- ◇ offer 「…を与える；…を提供する」
- ◇ chart 「図表；グラフ」
- ◇ according to ... 「…によると」
- ◇ option 「選択肢」
- ◇ pose 「…をもたらす」
- ◇ stimulate 「…を刺激する；…を促進する」
- ◇ regularly 「定期的に」
- ◇ quantity 「量」
- ◇ disorder 「不調；障害」
- ◇ on one's own 「独力で；1人で」
- ◇ competent 「有能な」
- ◇ opportunity 「機会」
- ◇ typical 「典型的な；普通の」
- ◇ statement 「記述；意見；文」
- ◇ matter 「重要である；関係がある」
- ◇ hazard 「危険；危険要素」
- ◇ daytime 「日中の；昼間の」
- ◇ body clock 「体内時計」
- ◇ flexible 「柔軟な；適応性に富んだ」
- ◇ habit 「習慣；癖」